



北陸先端科学技術大学院大学

先端科学技術研究科 先端科学技術専攻

JAIST について

北陸先端科学技術大学院大学

(JAIST: Japan Advanced Institute of Science and Technology) は、学部を置くことなく、独自のキャンパスと教育研究組織を持つ、日本で最初の国立大学院大学として平成2年に創設されました。

研究科等の主な沿革

- 平成2年10月 開学 情報科学研究科を設置
- 平成3年4月 材料科学研究科を設置
- 平成8年5月 知識科学研究科を設置
- 平成16年4月 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学を設立
- 平成18年4月 マテリアルサイエンス研究科を設置 (材料科学研究科を名称変更)
- 平成28年4月 先端科学技術研究科先端科学技術専攻を設置 (知識科学研究科、情報科学研究科、マテリアルサイエンス研究科を統合)
- 平成30年4月 先端科学技術研究科融合科学共同専攻 (修士課程) を設置 (金沢大学との共同教育課程)
- 令和2年4月 先端科学技術研究科融合科学共同専攻 (博士後期課程) を設置 (金沢大学との共同教育課程)

学長メッセージ

現在、世界はかつてないような規模とスピードで日々変化しています。このような世界の変化を的確にとらえ、そこで生じる新しい課題に挑戦し解決へと導くためには、広い分野の学術や先端科学技術の知識と方法論を身につけ、自主性とチャレンジ精神を持つ人材が必要とされます。



北陸先端科学技術大学院大学(JAIST)は、独自のキャンパスと教育研究組織を持つ日本初の国立大学院大学として1990年10月に設立され、2025年には創立35年の節目を迎えています。この間、先端科学技術の広い分野で世界トップレベルの研究を推進し、これを通じた人材育成と社会貢献に努めるとともに、大学改革の先導的モデルとして新しい大学院像を示してきました。

教育・研究においては、学生それぞれの自主性を大切にしています。各学生は、受講する講義を自分自身の学修計画に基づいて全開講科目から自由に選択することができ、幅広い知識と方法論をオーダーメイド的に修得し、在学中の研究や修了後の業務に活かすことができます。

JAISTの在学学生は40%以上が海外からの留学生であり、世界の多くの国から意欲にあふれた学生が集まっています。外国人教員の割合も日本の大学ではトップクラスであり、多くの授業が英語で行われています。このようなグローバルな環境の中で国際的な感覚を身につけることが出来ます。

JAISTは、これからも「世界トップレベルの研究の推進とこれを通じた人材育成、そして教育・研究による社会貢献」を使命として大きく発展していきます。

北陸先端科学技術大学院大学長

寺野 稔

北陸発

最先端

CONTENTS

学長メッセージ	01
先輩インタビュー	03
修了生インタビュー	05
■ 研究科について	
研究大学「JAIST」を支える 先端科学技術研究科と研究・教育	08
先端科学技術研究科・研究領域の概要	09
■ JAIST 5 つの魅力	
教育システム	14
就職支援	20
研究機器・設備	23
修学サポート	27
国際交流	32
■ Campus Life	
生活シミュレーション	34
学生寄宿舎等	35
福利厚生施設	36
附属図書館	37
JAIST 周辺MAP	39
■ 入試について	
キャリア目標・教育プログラムと選抜試験	42
入試日程	43
イベント情報	44
学生データ	45

キャンパスマップ	46
JAISTへのアクセス	47

先輩インタビュー



JAISTの魅力とは!?

多様な専門性や国籍の学生が交わる「知識共創」の場であり、領域を超えた議論や挑戦を後押しする自由な環境が魅力です。先生方との距離が近く、学生主体のプロジェクトも学長が応援してくれるなど、個々の「やりたい」を形にできる濃密な研究生生活が送れます。

博士前期課程 西本研究室
(データ社会メディア研究領域)
前田 響紀さん

Q JAISTを目指したきっかけ

心理学を学び「教育」に興味を持ち研究を進める中で、“与える教育・受け取る学び”ではなく人が持つ「知」への潜在欲求をどのように引き出して自発的学びにつなげられるかを深く研究してみたいと考え、大学の恩師の勧めもありJAISTへの進学を決めました。

Q 現在の研究内容について

笑学(笑い学)という学問分野を研究中です。笑いによるコミュニケーション能力向上や「笑いのトリガー」による学習意欲への刺激などの心理的効果についてです。学内での研究に加え、学外でのインターンや教育現場での活動を通じて、理論と実践を往復しながら形にしている最中です。

Q JAISTを目指す学生へ

何より「自分がやっていて楽しい、誇りを持てるもの」を大切にしてほしいと思います。JAISTには、多様な価値観を持つ仲間と繋がれるコミュニティがあります。ここで過ごす濃密な時間は、必ずあなたの財産になります。楽しみながら、自分らしい研究の形をぜひ見つけてください。

Q JAISTを目指したきっかけ

学部時代から「人の話し方」を一貫して研究してきましたが、もっと情報科学的なアプローチをしたいと思ったのがきっかけです。博士課程への進学を決めたのは研究指導が徹底されていることに加えて、学費免除や生活費・研究費の支給など、経済的支援が非常に充実している点に魅力を感じたからです。

Q 現在の研究内容について

これまでは「話す」ことに特化した研究でしたが、現在は「聞くと話す」の両方のメカニズムをテーマにしています。MATLABを用いた音声音響処理を中心に行っており、今後は超音波装置(エコー)を使った舌の動きの観察も行います。来年度には、ドイツの大学への海外留学も計画していて、さらに研究を深める予定です。

Q JAISTを目指す学生へ

JAISTは「研究したい」という熱意がある人にとって、最高の場所です。他分野の学生と実験を通じて協力し合ったり、刺激を受けたりする機会が豊富にあります。私自身、ここでの研究を形にして将来はアカデミアの道を目指したいと考えています。皆さんもぜひ、自分の興味を信じて挑戦してください。

JAISTの魅力とは!?

先生が一人に2時間近く議論を尽くしてくださる丁寧な指導と、充実した実験機器を好きな時に使える環境です。他分野のドクターとの交流も刺激になります。私は2026年度から学術振興会特別研究員DC2に採択が決まり、研究奨励金をいただきながら研究に励みたいと思います。JAISTは、設備・学資援助の両面で、好きな研究に没頭できるサポート体制が万全です。

Q JAISTを目指したきっかけ

「ドクターが多く在籍する環境で学びたい」「自分の強みを活かせるプレゼン中心の入試形態」という理由から志望しました。専門とは異なる分野の桶葎研究室を選んだのは、研究室訪問の際、先生のお話に好奇心が刺激されたからです。未知の領域へ飛び込むワクワク感が、入学の決め手になりました。

博士後期課程 桶葎研究室
(物質化学フロンティア研究領域)
萩原 礼奈 さん

Q 現在の研究内容について

ソフトマテリアル分野の「界面分割現象」を研究しています。高分子水溶液が乾燥する時の界面の挙動を追跡し、そのメカニズムを解明して普遍的な物理現象であることを明らかにすることがテーマです。実験を通して自分にはできない新たな発見があり、新しいものをつくり出している感覚が楽しいです。

Q JAISTを目指す学生へ

JAISTは、自分にしかできない発見を楽しみ、研究に没頭したい人にふさわしい大学院です。私自身、ここでの経験から「ずっと研究に携わりたい」との思いが強まり、将来は研究職を目指しています。手厚いサポートがあるこの場所で、自らの手で新しいものをつくり出す喜びをぜひ味わってください。

JAISTの魅力とは!?

自分の専門外であっても興味を持って議論してくれる、意欲の高い学生が集まっている点です。先生方も非常に面倒見がよく、入学前から親身に相談に乗っていただきました。また、研究室の規律がしっかりしており、オンとオフのメリハリを持って研究に没頭できる環境も、JAISTならではの魅力です。

博士後期課程 鵜木研究室
(人間情報学研究領域)
清水 美聖 さん

修了生インタビュー



ソニーセミコンダクターソリューションズ株式会社
博士前期課程【情報・藤崎研】
(2025年3月修了)
長谷川 直樹 さん

現在の 仕事について

ソニーの半導体事業部門で、主にセキュリティ関連の業務に携わっています。現在は研修を中心に、専門である暗号技術の知識を活かしつつ、半導体回路設計などのハードウェア領域についても学んでいます。数学という理論の世界から、より実用的な「物づくり」に近い現場で、製品の安全性に貢献できることにやりがいを感じています。

現在の 仕事について

不動産会社でコミュニティマネージャーとして、シェアスペースの企画・運営に携わっています。シェアキッチンやイベントスペースの運営を通じ、地域の方々が集まるコミュニティを形作ることが私の役割です。そこでの活動をきっかけに、新たなチャレンジをする人を増やし、街全体の活性化に繋げていく「面としての街づくり」を目指しています。

JAISTでの学びと いまの私

JAISTでは新潟の商店街再生事例を対象に、外部の「よそ者」が地域に及ぼす影響や再生プロセスを研究しました。この研究で得た「地域づくりのポイント」という知見は、現在のコミュニティ運営の現場でも、人の動きを捉えたり、活性化のきっかけを作ったりする際の確かな指針として大きな支えになっています。

JAISTで 学んで良かったこと

経営学から社会学への転換でしたが、JAISTは大学院大学であるため、研究領域を変えたい人にとって心理的ハードルが低く、一步を踏み出しやすい環境でした。また、研究室を通じて街づくりに関わる多くの事業者さまと知り合えたことは大きな財産です。その方々の姿に憧れ、今の仕事を選ぼうと決心するきっかけになりました。



ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社
博士後期課程【マテ・高村由研】
(2022年3月修了)
新田 寛和 さん

現在の 仕事について

地元・九州の半導体企業で、イメージセンサーの開発に携わっています。イメージセンサーは、自動運転やスマートフォンなどで「人間の眼」の役割を果たす重要なデバイスです。半導体内部のミクロの世界は、以前から非常に興味があった分野であり、世界をより良く変えていく一翼を担えることに大きなやりがいを感じています。

2 JAISTでの学びと いまの私

JAISTでは暗号理論を専攻していましたが、現在の業務でもその専門性は大きな基盤となっています。また、入学当初は未経験だった分野の講義も幅広く受講した経験が、「未知の領域でも飛び込んでみれば何とかなる」という今の仕事に対する前向きな姿勢や、適応力に繋がっていると感じます。

3 JAISTで 学んで良かったこと

大学院大学であるJAISTは、学部時代とは異なる分野に挑戦したい人にとって最高の環境でした。私は数学科出身ですが、情報学の基礎から応用まで幅広く学べたことが大きな収穫です。また、自然に囲まれた静かな環境や通学時間が実質ゼロの寮生活は、研究に深く没頭するのに最適で、東京出身の私には雪国での生活も新鮮な思い出です。

4 今後の目標や 挑戦していきたいこと

現在はハードウェアの研修が主ですが、将来的にはJAISTで培った数学的思考とソフトウェアの知識を融合させ、より高度な「モノづくり」に関わっていきたいです。回路設計からソフトまで、ハード・ソフトの境界を越えたエンジニアとして成長し、世界中の人々に使われる製品の信頼性を支えていくことが目標です。

今後の目標や 挑戦していきたいこと

今後も実務と並行して、在学中から培ってきた研究的な視点を持ち続けたいと考えています。常に新しい街づくりの事例にアンテナを張り、JAISTで学んだ「地域マネジメント」の考え方を現場で体現していくことが目標です。研究と実践を往復しながら、より多くの地域で笑顔が生まれる仕組みを作っていきたいです。



omusubi 不動産

博士前期課程 [知識・数田研]
(2021年9月修了)

高野 あゆみ さん

2 JAISTでの学びと いまの私

JAISTでの5年間、世の中になかった新しい薄膜を作り出す研究に没頭しました。この時、先生に相談して愛知の分子科学研究所まで足を運び、大型施設で貴重なデータを取得した経験などは今も私の宝物です。最先端の設備を使いこなし、納得いくまで研究に打ち込んだ経験が、現在のエンジニアとしての探究心や開発精神の糧となっています。

3 JAISTで 学んで良かったこと

学生の自主性を尊重してくれる自由な雰囲気と、学生一人あたりに投じられる豊富なリソースが魅力です。論文へのアクセスやスーパーコンピュータの使用など、研究に専念できる環境が整っていました。博士課程では苦労もありましたが、研究室の枠を超えて切磋琢磨し、行き詰まった時に支え合える一生モノの友人に出会えたことも大きな財産です。

4 今後の目標や 挑戦していきたいこと

中学生の頃からの「世界を変えるような材料をつくりたい」という夢は、今も変わっていません。JAISTの濃密な日々で磨かれたエンジニア精神を大切に、現在のイメージセンサー開発においても新たな価値を創造していきたいです。培った技術と知見を武器に、いつか世界を驚かせるような開発に挑戦し続けたいと思っています。

研究科について

研究大学「JAIST」を支える

先端科学技術研究科と研究・教育 — P.08

先端科学技術研究科・研究領域の概要 P.09

北陸先端科学技術大学院大学

研究大学「JAIST」を支える先端科学技術研究科と研究・教育

JAISTは、研究大学として、世界最高水準の研究と教育を行っています。

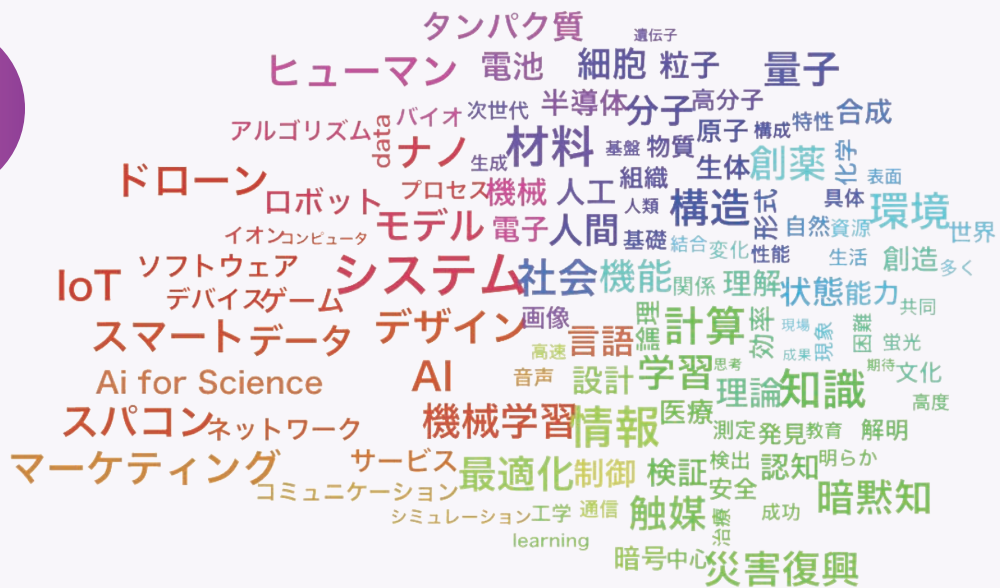
先端科学技術研究科（先端科学技術専攻）のもとに、3つの学位（情報科学、知識科学、マテリアルサイエンス）があります。

先端科学技術研究科に所属する教員は、10の研究領域とその他センター等から構成された研究領域に所属しており、さまざまな研究を分野横断的に行っています。

こうした研究・教育活動を通じて、学術界と産業界を主導する高度専門人材の育成を行っています。

先端科学技術研究科 先端科学技術専攻

研究



JAISTで行われている研究の主たるトピック・ワードクラウド

教育



情報科学



知識科学



マテリアルサイエンス

目指す人材像

学術界と産業界を俯瞰し、社会課題の発見と解決を主導する高度専門人材として活躍



先端科学技術研究科・研究領域の概要

研究科の目的

1

先端科学技術の確かな専門性ととも、幅広い視野や高い自主性、コミュニケーション能力を持つ、社会や産業界のリーダーを育成すること。

2

世界や社会の課題を解決する研究に挑戦し、卓越した研究拠点を形成すると同時に、多様な基礎研究により新たな領域を開拓し、研究成果の社会還元を積極的に行うこと。



先端科学技術研究科には **10の研究領域** があり、学問分野の枠を超えた活動を行います。



AI知性研究領域

人類の深遠な知性を解き明かし、共に成長するAIを研究することで、人類の知性を飛躍的に高める

キーワード

知性科学、知性の計算理論、AI for Science、人間中心AI、ヒューマン-AIインタラクション、知識構造化、自然言語処理、マテリアルズインフォマティクス、ソフトロボティクス、フィジカルインテリジェンス、コンピュータグラフィックス、画像生成AI、人間拡張、マルチモーダルインタラクション、社会的信号処理

研究領域の概要

本研究領域は、深層学習や大規模言語モデルに基づき発展してきた知能情報処理・人工知能研究を深化させ、「深い理解や洞察力、価値判断、倫理的な思考」を備える知性を科学し、人間の判断・意思決定・思考能力・学習能力・共感・非認知能力・創造力を含む多面的な知性を拡張させることを目指します。数値化・測定が難しい知性の原理や要素を明らかにする基礎研究を実施するとともに、先端科学技術を融合し、実世界における暗黙知や知性を構造化し、知性の実現に向けたAI研究を深化させることで、人類の知性を拡張するための方法論を確立します。具体的なテーマとして人間の感情や感覚のモデルに基づき対話や協同作業を行う知能処理の研究、人間とマルチモーダルなインタラクションを通じてユーザーの個性に適応する対話ロボット、触覚を認識し再現・生成する次世代のソフトロボティクス基盤、自律駆動による科学研究プロセスの自動化、批判的思考を育む支援技術の研究、人類の知性を拡張する技術に関する研究を推進します。

社会システムマネジメント研究領域

知性が組織を変え、社会を動かす研究を通じて、人類知性の最前線へ理論と実践で、新たな時代をデザイン

キーワード

知識マネジメント、技術経営、サービス経営、先端科学技術政策、人類知性、システムデザイン、ウェルビーイング、公共の知性、リスクイノベーション、災害マネジメント、都市計画、サステナビリティ、循環経済、資源マネジメント、サービスデザイン人類学、医療政策、ビジネスエスノグラフィ

研究領域の概要

本学は過去30年にわたり、組織の最重要経営資源である知や知能の創造とそれに基づく経営について研究・教育をしてきました。人工知能や各種ロボティクスの高度化で人間の能力をはるかに超える情報処理が可能になった今日、組織の最重要経営資源は、そうした先端科学技術を駆使して、注意や推論を用いて環境を捉え、適応・創造を目指す志向性 (Intellect/知性)、自由・平和・ウェルビーイング等、人類が追求する価値のあること (共通善) への創造的構想実践力 (Human wisdom/人類知性) に移っています。本研究領域は、前身のトランスフォーマティブ知識経営研究が蓄積してきた、ウェルビーイングを実感・追求できる社会構築のための変革的資源としての知識研究を高度に発展します。そして知性を分析単位に、個人から組織やネットワーク、国家・地球に至るまで、対象となるシステムや制度に発生する課題を捉え、その課題を解決するための知性の創造・評価・デザインを研究します。

データ社会メディア研究領域

「知」の冒険! 未来のデータ科学、メディア、文化の開拓
創造的想像力を用いた心と体・IT・社会システムの探求

キーワード

知識科学、データ科学、データ・情報・知識・知恵、インタラクション、サイバネティクス、AI、マルチメディア、AR/MR/VR、意思決定科学、心理学、経済学、認知科学、教育工学、分析哲学、数理論理学、環境科学、システム科学、ネットワーク科学、文化進化、行動変容、CSCW、創造性、集合知、STEAM教育

研究領域の概要

私達は、人類社会のための「知」を開拓することを目指して、データ社会、メディア、文化についての科学技術を理論から実践にわたり研究します。人間知性をもつ創造的想像力を活用し、1) ビッグデータを用いたAI・計算シミュレーション、かつ人間の洞察力・想像力を組み合わせた革新的な知識発見・共創の基礎研究、2) 人間の想像的行動を支援するメディア、ソーシャルメディア、ヒューマンインタラクション、および、深い学び・技能獲得・生活を支援する人間中心メディアの研究、3) これら研究を組み合わせ、個人・グループ・組織、そして、知識社会・文化・地球に存在する社会課題の探求・解決型の研究に取り組みます。

コンピューティング科学研究領域

計算を科学し、計算できることの限界を知り、
膨大なデータから正しい結論を導く方法を明らかにする

キーワード

情報科学、暗号と情報セキュリティ、数理論理学、人工知能、定理自動証明、形式手法、理論計算機科学、データサイエンス、分散システム、アルゴリズム、情報理論

研究領域の概要

世の中には解かなければならない課題が山積していますが、コンピュータを使えば、どんな問題でもたちどころに解決できるというわけではありません。たとえパソコンを使っても、原理的に解けない問題もあれば、宇宙の寿命よりも長い時間をかけないと解けない問題もあります。バグのないプログラムを正しく作成して、膨大なデータから意味のあるデータだけを取り出して、本当に必要とする答えを妥当な時間で手に入れるには、どうしたらよいのでしょうか。こうした計算の安全性や正当性、妥当性はどのように保証したらよいのでしょうか。

本研究領域は、情報科学の観点から、コンピュータサイエンス、数学、人工知能、データサイエンスおよびその他関連分野を基礎理論から応用に到るまで、横断的に研究・教育する学際的な研究領域であり、コンピューティング分野や人工知能の進化を推進することを目指しています。

次世代デジタル社会基盤研究領域

未来の社会を実現し、人類の発展を支える
次世代情報システムの研究を推進

キーワード

スマートシティ、サイバーセキュリティ、IoT、インターネット、情報システム、組込みシステム、ソフトウェアエンジニアリング、形式手法、次世代ワイヤレス・センサー通信、超LSI設計法、AIプラットフォーム

研究領域の概要

すべての科学技術の発展の裏には、計算機システムとネットワーク、すなわちICT (Information and Communications Technology: 情報通信技術) の大幅な進歩があります。また、ICT投資が企業業績と密接な関係があることも判明し、我が国の成長戦略の中心に位置づけられるようになってきました。こうした動きは、今後のIoT (Internet of Things) 化により、日常生活の基盤が「スマート社会基盤」となりICTシステムへの依存度を増すにつれ、ますます進むものと思われまます。本領域では、ICTシステムの根幹となる基盤技術の教育研究を推進しており、人材育成や学術的な成果はもとより、産業界への貢献、標準化活動、政府の政策決定に至るまで幅広く社会に貢献しています。

人間情報学研究領域

人間の情報処理機構を解明し、
より高度な情報処理システムへと応用する

キーワード

知覚情報処理、知能情報処理、マルチモダリティ、コミュニケーション、教育・学習工学、ゲーム情報学、自然言語処理、音声情報処理、画像・映像情報処理、ヒューマンインタフェース、知能ロボティクス

研究領域の概要

私達の研究領域の目標は、人が外界やモノから感じ取るマルチモーダルな知覚情報をどのように情報処理し、伝達しているのかを、情報科学を中心として分野横断的アプローチから解明し、高次情報処理分野やロボティクス分野に展開することにあります。そのため、本研究領域では、人と人ならびに人と機械のコミュニケーションの理解を通じて、人の感覚知覚メカニズムの解明、多感覚モダリティと人間行動理解、言語・非言語情報の認識・理解、人間の思考プロセスとそのモデル化といった人間中心の研究に取り組みます。さらに、機械工学・制御工学に基づくロボット技術や、知覚・知能情報処理に基づく五感センシング技術、人・環境と適応的に相互作用をする知的エージェントとしてのロボット工学といった工学実装を中心とした研究に取り組みます。これらの多様な研究課題は、人と機械の調和のとれた人間中心社会 (Society 5.0) 形成に貢献します。

メディカルサイエンス研究領域

未来を創る、医療材料イノベーションの最前線

キーワード

バイオマテリアル、ドラッグデリバリーシステム、再生医療、ナノメディシン、精密医療、細胞治療技術、次世代がん治療、アンチエイジング

研究領域の概要

私達の研究領域は、生命科学・医学・工学を融合させ、新しい医療技術、診断技術、治療法を開発することを目指します。本領域では、疾患の発症メカニズムの解明、医工学の革新、個別化医療の実現を軸に、材料化学、ナノテクノロジーを駆使して課題解決に取り組みます。特に、細胞治療、再生医療、ドラッグデリバリーシステム、ナノメディシンといった次世代医療技術に焦点を当て、基礎研究と応用研究の橋渡しを行います。

物質化学フロンティア研究領域

物質化学のフロンティアを開拓し、
豊かで持続可能な社会に貢献する

キーワード

カーボンニュートラル、ウェルビーイング、エネルギー関連材料、環境調和材料、グリーンケミストリー、機能性ナノ材料、高分子、触媒、マテリアルズ・インフォマティクス、先端機器分析

研究領域の概要

原子や分子を組み換え新しい物質や材料を生み出す化学は、現在に至る物質文明を切り拓いてきた学問分野です。私達の研究領域は、化学の最先端の知識と技術を、人工知能や高度な分析機器といった新技術と融合させることで、豊かな持続可能な社会に貢献する、物質化学のフロンティアの開拓に取り組んでいます。特に、新しい機能や優れた性能を示す物質を化学の基本原則と応用技術、さらには最先端の機器やコンピュータシミュレーションに基づいて設計し、化学製品やその製造プロセスとして世に送り出すことで社会に貢献します。最先端の化学の知識や融合的なアプローチを駆使し、物質化学フロンティアの将来を担う優れた研究者および技術者の育成に努めています。

ナノマテリアル・デバイス研究領域

ナノマテリアル・デバイスの先端科学技術を究め、
ウェルビーイングな社会実現を目指す

キーワード

ナノ粒子×バイオ・エネルギー、ナノワイヤ×スピントロニクス、
二次元材料×先端顕微鏡、エネルギー材料、ナノイメージング×分光、
スピントロニクス×量子センシング、半導体エレクトロニクス×デバイス計測技術、
太陽電池×高寿命化、マテリアルサイエンス×DX・データ

研究領域の概要

私達の研究領域では、創発的ナノマテリアルの合成・成長、先端的手法を用いた構造・物性解析とデバイス・センシング応用に取り組んでおり、さらには、量子技術、人工知能や自動化・ロボットの導入によるマテリアルサイエンスの新展開を目指しています。物理、化学、バイオ、材料、電気・電子、機械、情報など様々なバックグラウンドを持つ教員と学生が本研究領域に集い、協奏的共同研究の推進を通して、環境・エネルギー問題の解決、安心安全な社会の実現、人類社会の持続的繁栄に貢献すべく、マテリアルサイエンスのフロンティアを日々開拓しています。

バイオ機能医工学研究領域

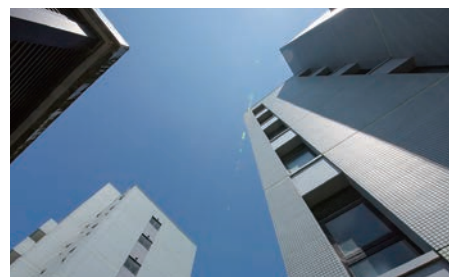
バイオ機能の理解に基づく先端バイオテクノロジー研究と
バイオメディカル分野への応用展開

キーワード

バイオテクノロジー、バイオメディカル、タンパク質、
DNA/RNA、生体膜、糖鎖、バイオ分子解析、人工バイオ分子創出、
バイオデバイス、遺伝子編集、分子ロボティクス

研究領域の概要

生物は、タンパク質・核酸・生体膜・糖鎖などのバイオ分子を高度に機能化・組織化することで、様々なバイオ機能を発揮しています。私達の研究領域では、最先端のバイオテクノロジーに加え、JAIST独自のバイオ分子解析技術・人工バイオ分子創出技術・バイオデバイス技術・遺伝子編集技術・分子ロボティクス技術等を駆使して、分子レベルから細胞レベルにおけるバイオ機能のさらなる理解を目指しています。また、それらのバイオ機能を利用・制御・拡張し、先端バイオテクノロジーをさらに発展させることで、人類の健康・医療の発展に資するバイオメディカル・ヘルスケア分野への応用展開を行っています。産業界とも連携して、先端バイオテクノロジーの実用化・社会実装に積極的に取り組んでいます。



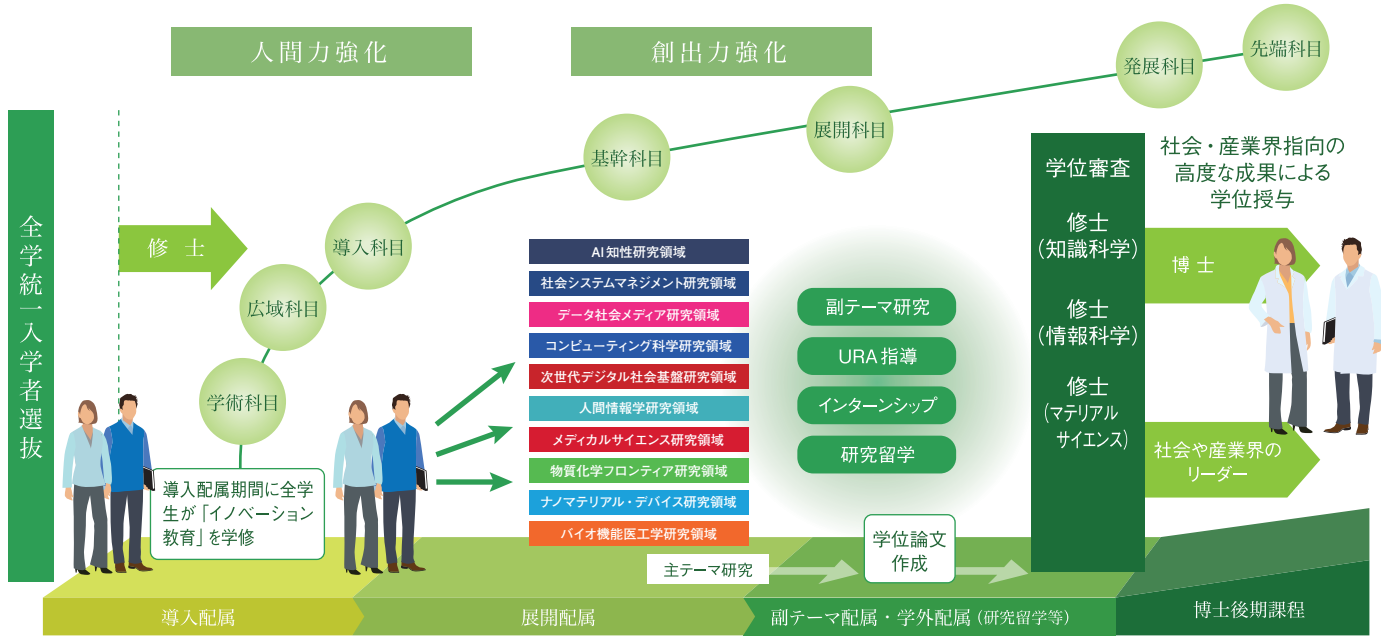
JAIST 5つの魅力

- FOCUS 01** JAISTの充実した教育システム ————— P.14
教育システムは、個々の学生の学修プランに対応できる柔軟なシステムになっています。
- FOCUS 02** 充実の就職支援 ————— P.20
就職活動スケジュールに合わせたガイダンスや学内企業説明会を実施するとともに、年間を通して専門のカウンセラーによる就職相談を利用できる環境・体制で就職支援を行っています。
- FOCUS 03** 最先端の研究機器と先進的な情報環境 ————— P.23
最高レベルの分析装置などの最先端研究機器と大規模並列計算機群などの先進的な情報環境を備えています。
- FOCUS 04** 多様な修学サポート ————— P.27
各種奨学金制度や授業料等の減免制度など多様な修学支援制度があります。
- FOCUS 05** 積極的な国際交流 ————— P.32
多くの留学生との交流により多様な考え方や価値観に触れることができます。



教育システムの特徴

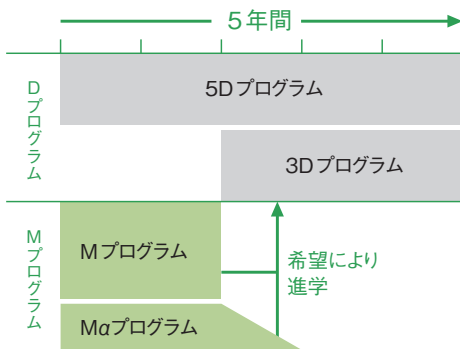
システム化した授業と研究指導によってしなやかな強さと共創力を備えたグローバルリーダーを育成



キャリアパス形成型の教育体系

■ 修学目的に対応した教育プログラムの提供

学生のキャリア目標の実現を支援するため、修学目的に対応した教育プログラムを提供しています。また、働きながら学びなおす社会人学生も支援し、長期履修など柔軟な履修を可能としています。



■ 取得できる学位

- 博士前期課程**
 - 修士 (知識科学)
 - 修士 (情報科学)
 - 修士 (マテリアルサイエンス)
- 博士後期課程**
 - 博士 (知識科学)
 - 博士 (情報科学)
 - 博士 (マテリアルサイエンス)

博士前期課程 + 博士後期課程	5Dプログラム	早期から博士の学位取得を目指す学生を対象に、博士前期課程と博士後期課程を有機的に接続させた5年一貫的な教育プログラム
博士後期課程	3Dプログラム	実践力重視により、従来型の博士後期課程を充実させた教育プログラム
博士前期課程	Mプログラム	実践力重視により、従来型の博士前期課程を充実させた教育プログラム Mプログラム修了後、博士後期課程 (3Dプログラム) に進学することも可能
	Maプログラム	分野変更者または基礎からじっくり学びたい学生を対象として、2年間から3年間でMプログラムと同様の修士教育を行う教育プログラム 2年分の授業料で最長3年間までの計画的な履修が可能

教育システムの内容

「知識科学的イノベーションデザイン教育」「人間力強化プログラム」「創出力強化プログラム」を組み合わせることで全学に展開します。

知識科学的イノベーションデザイン教育

以下の3つを体系的・統合的に修得

真のニーズや課題を探求し、
新しいアイデアやコンセプトを
創造する能力

要素技術と全体との相互作用を
分析し、要求を実現するシステムを
デザインする能力

技術・市場・組織・社会の
知識をイノベーションに結びつける
知識マネジメント能力

人間力強化プログラム

「人間力」とは、「知的能力」、「社会対人能力」、「自己制御能力」の3要素からなり、本プログラムでは、知識科学の方法論に基づいた人間力強化の教育プログラムを、学術科目や広域科目の中で実施し、キーコンピテンシー（聴く力・考える力・伝える力・挑む力・進める力）を養成します。個々人の学習（方法論の双方向講義）、グループワーク（自律学習）、ダブルループレARNINGによる学修を行います。

創出力強化プログラム

「創出力」とは、「創造性」、「ものづくり」、「知識基盤社会」の3要素からなり、本プログラムでは、知識科学の方法論に基づいた専門知識を発展させることができる創出力の強化を、階層化された基幹科目や展開科目の履修及び研究指導の中で実施します。体系的な専門性を重視し、基幹科目、展開科目、先端科目を拡充して、学生が自律的に到達度を高められる教育を実践します。

全学オリエンテーションおよび必修科目

全入学生を対象に、一緒に学ぶ仲間と知り合う全学オリエンテーションを、入学直後に実施します。引き続き、イノベーション創出人材の基礎である「人間力」と「創出力」の開発を目的とする必修科目を開講します。必修科目では、通常の講義形式に加え、グループワーク形式の演習を実施します。演習では、社会のニーズと科学技術のシーズの関連付けを発見的に行うチーム課題解決活動を通し、イノベーションを生み出す共創の価値や楽しさを体験します。



■ 必修科目（博士前期課程）

- ・人間力イノベーション論 1単位
- ・創出力イノベーション論 1単位

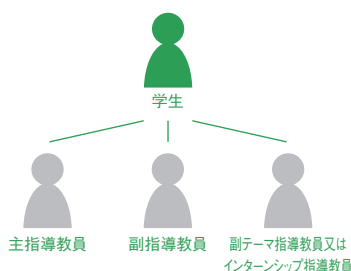
■ 必修科目（博士後期課程）

- ・人間力・創出力イノベーション論 1単位

指導体制等

■ 複数教員指導制

ひとりの学生に対して、主指導教員、副指導教員、副テーマ指導教員（又はインターンシップ指導教員）の3名の教員が教育・研究の指導にあたります。



■ 副テーマ研究

副テーマ研究は、専攻する分野に関する研究課題（主テーマ）のほかに、隣接または関連分野の基礎的な概念、知識、能力等を身につけるために第二の研究課題として課すものです。副テーマ研究においては、副テーマ指導教員の下で、学生のキャリア目標に応じて、産業界をはじめとする学外機関での指導、分野の異なる研究室での指導及び複数の学生で1つのテーマを探究する「グループ副テーマ」など、研究テーマに応じた柔軟な指導を実践しています。また、副テーマ研究に代わり、インターンシップを実施することも認められます。

■ 学修計画・記録書

入学から修了までの履修科目や学修の計画と記録、指導教員からの指導内容を記録し、自身の学修の振り返りを助けるものとして作成するものです。「学修計画・記録書」に沿って指導を受けることで、自身のキャリア目標、学修歴、研究計画等を踏まえ、他分野の科目も含めて関連性や難易度等を見据えた科目を体系的に履修することができます。

■ 産学連携による共創的実践教育

産業界のニーズと本学の研究シーズのマッチングをさらに強化するため、企業からの人材をURA（リサーチ・アドミニストレーター）として配置し、研究指導を行います。

■ 体系的な授業科目群

JAISTの授業科目は、自由科目、学術科目、広域科目、導入科目、基幹科目、展開科目、発展科目、先端科目の8つに区分され、以下のように構成しています。

	博士前期課程	博士後期課程
自由科目	自らの学修の補遺的な強化に資する授業科目群	
学術科目	グローバル社会で必要な能力の強化に資する授業科目群	
広域科目	融合領域を広範に捉え、 自らの専門性の広角化に資する授業科目群	
導入科目	融合領域の境界を捉え、 自らの専門性の基盤化に資する授業科目群 修士レベルの専門基礎の強化	
基幹科目	融合領域の境界を越え、 自らの専門性の螺旋化に資する授業科目群 専攻分野の中核的知識・方法論等の強化	
展開科目	科学技術の展開を捉え、 自らの専門性の高度化を図る授業科目群 幅広い基盤的専門知識を理解し問題解決に 応用できる能力を定着	
発展科目		先端科学技術の発展を捉え、 自らの専門性の深化を図る授業科目群 博士レベルの専門応用の強化を図る授業科目群
先端科目		先端科学技術の深奥を捉え、 自らの専門性の確立を図る授業科目群 授業科目は主に英語で実施 世界的に通用する高い研究能力と俯瞰的な視野を持ち、 問題の発見と解決できる能力を付与し、定着を徹底

1つの授業科目につき、在籍課程及び取得を目指す学位（知識科学、情報科学、マテリアルサイエンス）により異なる科目区分を付す科目体系となっています。

(例) I2xx 科目○○○○論の単位を修得した場合、知識科学の学位取得を目指す博士前期課程の学生は展開科目として修了要件に算入することになるが、情報科学の学位取得を目指す博士前期課程の学生は基幹科目として修了要件に算入することになる。(下図参照)

	博士前期課程（学位：修士）			博士後期課程（学位：博士）		
	知識科学	情報科学	マテリアルサイエンス	知識科学	情報科学	マテリアルサイエンス
○○○○論	展開科目	基幹科目	広域科目	発展科目	発展科目	自由科目

■ 学修プログラムの概要

教育内容により区分した教育課程として次の学修プログラムを置いています。プログラム修了に必要な要件を満たした場合には、学修プログラム修了証を発行します。

	課 程	学修プログラム
石川	博士前期	<input type="checkbox"/> メディアデザインプログラム <input type="checkbox"/> 共創AI革新リーダー育成プログラム <input type="checkbox"/> 情報セキュリティプログラム (4月入学者対象、10月入学者は対象外) <input type="checkbox"/> ナノマテリアルテクノロジープログラム
	博士後期	<input type="checkbox"/> 共創AI革新リーダー育成プログラム <input type="checkbox"/> ナノマテリアルテクノロジープログラム

授業の実施方法

■ クォーター制

段階を踏みながら短期間で効率よく必要な知識を獲得できるよう、JAISTではクォーター制という授業システムを導入しています。これは、1学期を2ヶ月単位とし、1期8週間で完結する授業形態を4月から翌2月までの間に全部で4期間実施する制度です。各科目とも週2回授業を行い、学生が短期間で集中的に授業科目を履修し、高度な知識を早い段階で獲得できるようにしています。



■ 授業時間

授業は1回100分とし、2単位科目であれば基本的に14回開講します。

石川	1時限	9:00~10:40
	2時限	10:50~12:30
	3時限	13:30~15:10 (チュートリアルアワー)
	4時限	15:20~17:00
	5時限	17:10~18:50



■ チュートリアルアワー

1単位45時間の単位制度の趣旨を徹底させるため、各科目週2回の集中的な講義を実施しているJAISTでは、授業は基本的に午前中のみ開講とし、午後からの時間は個別指導を行うためのチュートリアルアワーや講義の予習・復習・自己研究を行うための自主的活動時間にあてています。

チュートリアルアワーは、講義内容や日々の研究内容に疑問を持っている学生に対して、教員が積極的に対応する制度です。午後の時間帯をこれにあて、各教員やTA(ティーチングアシスタント)が、学生からの質問にきめ細やかに対応することで、理解力の向上を手助けしています。



■ 入学・進学前の既修得単位の認定

入学・進学前に他大学大学院、JAIST博士前期課程及び科目等履修生時等において修得した授業科目の単位をJAIST在籍課程で修得したものと認定することができます。

■ 長期履修制度

職務等の都合により大学での学修が制限され、標準修業年限での修了が困難であることが想定される場合で、かつ、長期履修の希望申請があった場合、標準修業年限を超えて一定期間にわたり計画的に履修することが認められます。

■ 短期修了

修了要件を満たした上で、優れた業績を上げた者と認められた場合、博士前期課程では1年以上、博士後期課程では3年(博士前期課程での在学年数を含む)以上在学すれば修了できます。

■ 単位互換制度

以下の大学院(協定校)の授業科目を履修することができます。

【協定校】

金沢大学大学院自然科学研究科 / 金沢工業大学大学院工学研究科 / 放送大学大学院文化科学研究科

修士学位への道 Mプログラム/Mαプログラム (博士前期課程)

Mプログラム

標準修業年限2年で修士の学位を取得するためのプログラムです。Mプログラム修了後、博士後期課程(3Dプログラム)に進学することも可能です。

Mαプログラム

JAIST入学後、学部時代からの専攻分野を変更した学生、または基礎からじっくり学びたい学生を対象として、2年間から3年間でMプログラムと同様の修士教育を行うプログラムです。2年を超える在学期間中は授業料が免除されます(免除期間は最長1年まで)。

主テーマ研究

基礎・専門知識の構築をより深く行う修士論文研究、特定の課題について研究を行う課題研究、博士後期課程での博士研究の計画とそれに備えた博士研究計画調査のいずれかを選択します。

Schedule

■ 修士論文研究、課題研究選択者のスケジュール (Mプログラム)

1 年 次 (M 1)	4	研究室導入配属(仮配属)、必修科目履修	1の1期
	5		
	6	研究室展開配属(本配属)・主指導教員の決定	1の2期
	7	副指導教員、教育プログラムの決定	
	8		夏期 集中講義
	9		
	10	副テーマ指導教員の決定、副テーマ研究の開始	2の1期
	11		
	12		2の2期
	1		
	2		冬期 集中講義
	3	研究計画提案書提出	
2 年 次 (M 2)	4		1の1期
	5		
	6		
	7		1の2期
	8		夏期 集中講義
	9	修士論文等中間発表会	
	10		2の1期
	11		
	12		
	1	学位申請書等提出	2の2期
	2	修士論文/課題研究報告書の提出、発表・審査	
	3	学位記授与	

■ 博士研究計画調査選択者のスケジュール (5Dプログラムのみ)

1 年 次 (M 1)	4	研究室導入配属(仮配属)、必修科目履修	1の1期
	5		
	6	研究室展開配属(本配属)・主指導教員の決定	1の2期
	7	副指導教員、教育プログラム(5D)の決定	
	8		夏期 集中講義
	9		
	10	副テーマ指導教員の決定、副テーマ研究の開始	2の1期
	11		
	12		2の2期
	1		
	2		冬期 集中講義
	3	研究計画提案書提出	
2 年 次 (M 2)	4		1の1期
	5		
	6		
	7	博士論文研究基礎力審査願の提出	1の2期
	8	博士論文研究基礎力予備審査	夏期 集中講義
	9		
	10	博士研究計画調査報告書の提出、博士論文研究基礎力審査	2の1期
	11		
	12		
	1	学位申請書等提出	2の2期
	2		
	3	学位記授与	

※上記スケジュールは、4月に入学し、2年間で課程を修了する場合の主な事項の目安の時期です。

■ 修了要件/博士前期課程

博士前期課程に2年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、修士論文、課題研究報告書又は博士研究計画調査報告書を提出し、その審査及び最終試験に合格することが修了要件です。

ただし、所定の要件を満たした者が優れた研究業績を上げたと認められた場合は、在学期間2年を最短で1年に短縮することができる場合もあります。

博士学位への道

5Dプログラム (博士前期課程・博士後期課程)
3Dプログラム (博士後期課程)

5Dプログラム

博士前期課程と博士後期課程を有機的に接続して5年一貫的な博士教育を行うプログラムです。

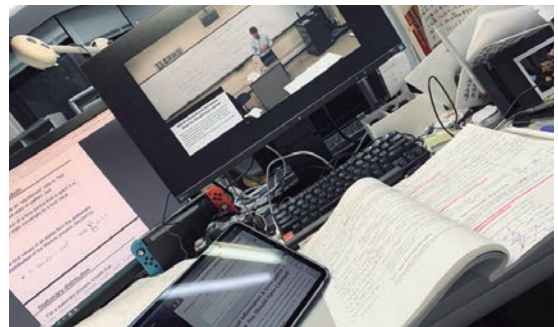
3Dプログラム

MプログラムまたはMαプログラムからの進学者、あるいは他大学大学院からの進学者を対象にした、3年間の博士教育を行うプログラムです。

Schedule

■博士後期課程のスケジュール (3Dプログラム)

1 年 次 (D 1)	4	研究室配属 (本配属)・主指導教員及び副指導教員の決定、必修科目履修	1の1期
	5	1年次の2月末までに副テーマ指導教員の決定、副テーマ研究開始	
	6		1の2期
	7		
	8		夏期 集中講義
	9		
	10		2の1期
	11		
	12		2の2期
	1		
2		冬期 集中講義	
3	研究計画書提出		
3 年 次 (D 3)	4		1の1期
	5		
	6		1の2期
	7	学位論文の骨子の提出	
	8		夏期 集中講義
	9		
	10	予備審査願の提出	2の1期
	11		
	12	予備審査会	2の2期
	1	学位申請書等・博士論文提出	
2	公聴会・本審査・最終試験		
3	学位記授与		



※上記スケジュールは、4月に入学し、3年間で課程を修了する場合の主な事項の目安の時期です。

※5Dプログラムは、博士前期課程修了後、博士後期課程のスケジュールに合流。

■ 修了要件／博士後期課程

博士後期課程に3年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、学位論文を提出し、その審査及び最終試験に合格することが修了要件です。

ただし、所定の要件を満たした者が優れた研究業績を上げたと認められた場合は、在学期間3年を最短で1年に短縮することができる場合もあります。



キャリア形成・就職サポート

就職支援室が皆さんの就職活動を強力にサポートします。

1 新入生就職ガイダンス

入学後早期に、大学院生の就職活動のポイントを説明します。

2 インターンシップガイダンス・企業説明会

インターンシップ参加に向けての準備や就職活動への活かし方を専門の講師が数回にわたりアドバイスします。また、複数の企業を招いて説明会を実施します。

3 就職対策講座

専門の講師が就職活動のノウハウを数回にわたり伝授します。

4 学位別進路ガイダンス

求人側の特性や動向に合わせた進路ガイダンスを体系的に実施します。

5 SPI模擬試験

筆記試験対策としてSPI模擬試験を年数回実施します。

6 内定者との懇談会

1年次生は、すでに内定を得た2年次生の就職活動における体験談を聞くことができます。

7 学内業界研究セミナー／企業セミナー（合同・個別）

企業の個別セミナー（説明会）を学内で随時開催します。また、多数の企業が学内で一堂に会する合同業界研究セミナーを実施します。

8 面接トレーニング

面接は採用試験最大の関門です。本番で戸惑うことのないよう、トレーニングを実施します。

9 カウンセラーによる就職相談

専門のキャリア開発カウンセラーが親身になって相談に応じます。必要な時に適切なアドバイスが受けられます。（予約制）

10 JAISTキャリアサポートシステム

求人票は、学内者専用の本システムで検索・閲覧が可能です。このシステムを利用し、企業名、業種、職種、求人数、学校推薦などの求人情報を随時チェックできます。

11 さまざまな費用助成

キャリア形成活動に関する交通費等の助成や、外国人留学生の就職活動に資する費用助成などがあります。

- ・キャリア形成活動費支援制度
- ・インターンシップ助成制度
- ・外国人留学生職業指導助成制度

12 JAISTオリジナル履歴書

JAISTのロゴ入りで、研究内容の記述欄を設けた、大学院生の就職活動に便利なオリジナル履歴書のフォーマットを配布しています。



就職までのスケジュール

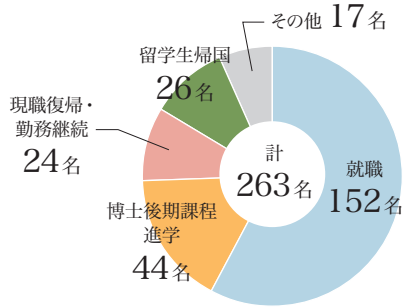
1年次から年間を通じて就職に関する相談が可能です。

また、就職活動スケジュールに合わせて、エントリーシート・履歴書添削指導や模擬面接も行います。

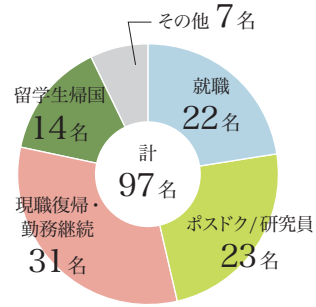
		就職活動		就職支援	
1年次	就職相談	1. 目標・活動プラン 希望進路の実現には何が必要か、目標を立てる。就職活動の基本を理解し、これからの活動プランを考える。	4~8月	・新入生就職ガイダンス ・インターンシップガイダンス (自己分析、仕事研究、自己PR・ガクチカ作成、志望動機作成、面接対策&マナー) ・学内合同企業インターンシップ等説明会 ・学位別進路ガイダンス ・インターンシップ準備講座 グループディスカッション体験	学内個別業界研究セミナー
		2. インターンシップ・オープンカンパニー等 近年、企業は学生へのPRの意味を含めてインターンシップにより力を入れる傾向に。ここがキャリア形成の重要期。企業と接点を持つことで、イベントの案内や早期選考の情報が得られることもある。			
		3. 自己分析・自己PR まず、自己を客観的に分析。何がやりたいのか、何に向いているのか、どのように働きたいのか、この時期に明確にしておく。また、早めに筆記試験の対策を行う。	9~11月	・後期スタートアップガイダンス ・留学生向け就職ガイダンス(日・英・中) ・理系就職対策講座 (研究内容棚卸・ガクチカ作成、ES・志望動機作成、面接対策) ・内定者との懇談会 ・SPI模擬試験(10月~3月)	
		4. 職業・職種の選択 自己分析をもとに、志望職種、業種の情報を収集し、「仕事」を絞り込む。その仕事で、自分の能力が、どの部分でどのように活かせるかを考える。			
		5. 実践に向けて 履歴書やエントリーシートの素案を考える。実際に書き、添削を繰り返し行い、書類選考の突破に向け準備する。			
		6. 業界研究 冬季インターンシップや各種セミナーに積極的に参加して業界研究を行う。 企業情報サイトだけでなく、会社四季報、新聞、雑誌や、公表されている事業報告書などを調べ、企業を選択する。OB・OGに相談するのもよい。	12~2月	・学内合同業界研究セミナー	
		7. 実践に向けて 本番に向けて、面接トレーニングや体験講座で面接試験の準備を行う。			
		8. 就職活動本番 これまで培ってきた実力が試されるとき。修士の学生に求められる、高い専門性とコミュニケーション能力を発揮して自分の夢を勝ち取る。	3月~	・就職活動リスタートガイダンス(6月)	
2年次		内定獲得			

修了者の進路状況・主な就職先

令和7年度博士前期課程修了者 全体

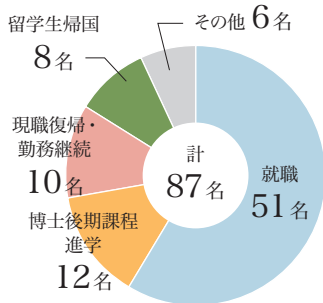


令和7年度博士後期課程修了者 全体

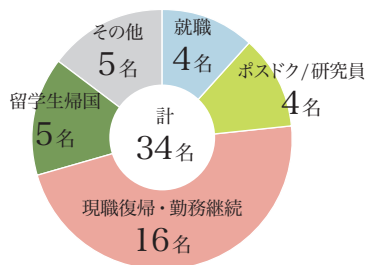


取得学位：知識科学（令和7年度修了者）

博士前期課程



博士後期課程

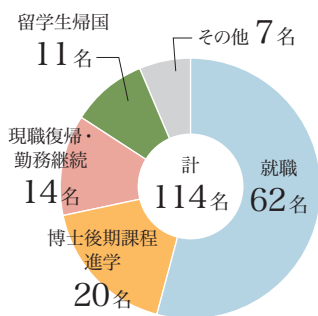


令和7年度までの修了者の主な就職先（博士前期課程）

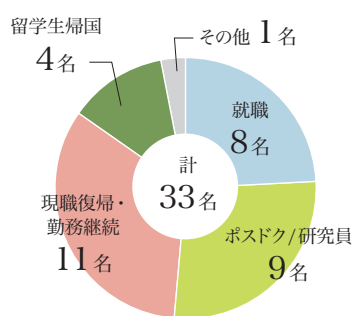
アイ・オー・データ機器、アクセンチュア、伊藤忠テクノソリューションズ、NEC、NEC航空宇宙システム、NECソリューションイノベータ、NTTドコモ、NTT西日本、京セラ、グリー、神戸製鋼所、サントリー、澁谷工業、シャープ、セイコーエプソン、ソフトバンク、大日本印刷、TIS、東芝、東芝デジタルソリューションズ、東洋紡、TOPPAN、トヨタ自動車、日産自動車、ニフティ、日本アイ・ビー・エム、日本工営、日本総合研究所、日本能率協会コンサルティング、博報堂、パナソニック、パナダイナムコアミュージックメントラボ、日立システムズ、日立製作所、富士フイルムビジネスイノベーション、富士通、フューチャーアーキテクト、本田技研工業、マーベラス、三谷産業、ヤフー、楽天グループ ほか

取得学位：情報科学（令和7年度修了者）

博士前期課程



博士後期課程

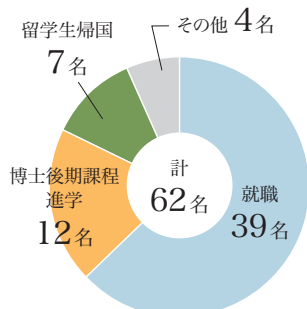


令和7年度までの修了者の主な就職先（博士前期課程）

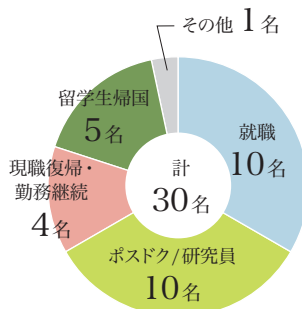
アクセンチュア、ALSOK、インターネットイニシアティブ、EIZO、SRA、NEC、NTT、NTTコミュニケーションズ、NTTデータ、NTTドコモ、沖電気工業、オムロン、カプコン、キャノン、京セラドキュメントソリューションズ、KDDI、KOKUSAI ELECTRIC、コマツ、シャープ、スズキ、住友重機械工業、セガ、セーレン、セコム、ソニー、ソフトバンク、大日本印刷、タイムインターメディア、椿本チエイン、TIS、デンソー、東芝、TOPPAN、日産自動車、日鉄ソリューションズ、日本信号、日本ビューレット・バックード、パナソニック、PFU、日立産業制御ソリューションズ、日立製作所、富士ソフト、富士通、本田技研工業、マイクロメモリジャパン、マイナビ、マツダ、マーベラス、三菱自動車工業、三菱電機、三菱UFJ銀行、矢崎総業、ヤフー、楽天グループ、ルネサスエレクトロニクス ほか

取得学位：マテリアルサイエンス（令和7年度修了者）

博士前期課程



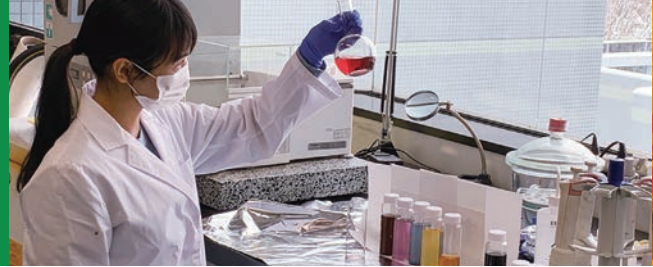
博士後期課程



令和7年度までの修了者の主な就職先（博士前期課程）

アズビル、アルバック、アルプスアルパイン、ウエスタンデジタル、NOK、NTTドコモ、大塚製薬、カーリットホールディングス、京セラ、キオクシア、クアーズテック、倉敷紡績、神戸製鋼所、コニカミノルタ、GSユアサ、ジーシー、澁谷工業、シャープ、ジャパンディスプレイ、スズキ、スタンレー電気、セーレン、大日本印刷、太陽誘電、TIS、TDK、テルモ、東京エレクトロン、東京電力、東芝、TOYO TIRE、TOPPAN、日油、日華化学、日産化学、ニフコ、日本特殊陶業、パナソニック、日立製作所、福井村田製作所、ブリヂストン、古河電気工業、マイクロメモリジャパン、三菱自動車工業、三菱電機、三菱マテリアル、三ツ星ベルト、矢崎総業、LIXIL、リコー、ルネサスエレクトロニクス、ローム ほか

FOCUS 3 研究機器・設備



JAISTで使える代表的な研究機器・設備

JAISTのコンピュータ・ネットワーク・大型実験機器等は、教員及び技術職員が、保守・運営しています。機器に応じた講習を受けてライセンスを取得することで、JAISTの学生なら誰でも研究のために使用できます。

大規模並列計算機



大規模並列計算機とは、多数の計算専用のノードを並列接続することにより構成される科学技術計算のための専用コンピュータシステムを指します。計算ノードは汎用高速ノードのほか、大規模メモリノードやGPUなど様々なアーキテクチャを有し、計算の用途に応じた使い分けが可能です。ナノテクノロジーからビッグデータ、機械学習など幅広い分野に活用され、一台のパソコンでは不可能な大規模、大量の実験を短時間で完了させることができます。

コミュニケーション記録装置



本装置はバッジ型をしており、相互に通信して相手の識別番号を時刻とともに記録します。グループワークなどでメンバー全員がバッジを装着すると、いつ・誰が・誰と話していたのか記録がとれるほか、Bluetoothビーコンを組み合わせることで、おおよその位置も記録することができます。対面での会話機会を記録し、分析することで組織のコミュニケーション状態を診断でき、メンバー間のコミュニケーションがうまくいっているか、リーダー的役割を果たしているのは誰かといったことが追跡できます。組織の活動をデータに基づいて緻密に分析することができます。

光学式モーションキャプチャ装置



本装置は16台のカメラから成り、3次元空間内での人間の運動を正確に追跡できます。本装置は運動解析のほか、収集した動作データを使ってアニメーションのキャラクターを動かすといった目的でも使えます。さらにヘッドマウントディスプレイと組み合わせた場合、利用者の動きに合わせてVR空間を操作できるので、多人数がVR空間で共同作業するようなコンテンツを作成できます。脳活動と視線を同時計測可能なヘッドマウントディスプレイが1基ありますので、VR空間内での人の挙動を脳活動・視線・動作という三つの観点から同時計測できます。

X線光電子分光装置 (XPS)



XPSは、試料の表面近傍に存在する元素の電子状態を精密に分析する手法です。金属、絶縁物、有機物等あらゆる元素を分析できます。さらに、分析対象となる原子周囲の電子状態によって起こる結合エネルギーの変化(化学シフト)を観測することで、化学結合状態を比較的容易に識別可能であることもXPSの特長と言えます。最小分析径は15 $\mu\text{m}\phi$ であり、また1 wt.% 程度の元素濃度であれば測定可能になります。数回の講習(日本語/英語)を経て技術を習得すれば自分で測定評価できます。

集束イオンビーム (FIB) 加工装置

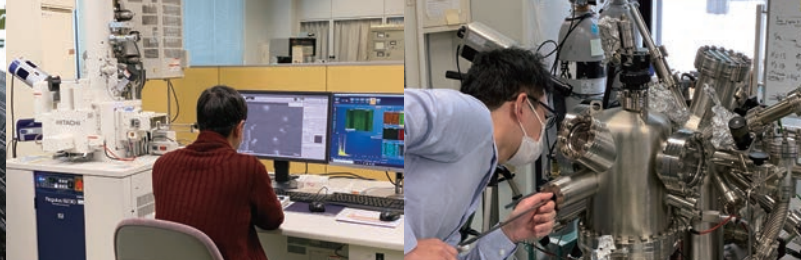


本装置では、集束イオンビームを照射した試料の表面から発生する二次電子を検出することにより、走査イオン顕微鏡(SIM)像と呼ばれる試料表面の画像を取得することができます。SIM像を観察しながら、試料の目標位置で微細加工を行うことが可能です。JAIST 所有のGaイオンビームを用いたFIB加工装置には、低加速FIBによる低ダメージ加工の機能があります。また、試料表面にタンガステンを蒸着するためのガス銃が付属しています。さらに、加工した微小な試料片を拾い上げる機構を有しています。JAISTでは本装置を用いて、透過電子顕微鏡の断面観察用の試料作製が行われています。

フーリエ変換イオンサイクロトロン共鳴質量分析装置 (FT-ICR MS)



極めて高い検出感度と分解能を誇る、超伝導磁石を用いたフーリエ変換型質量分析計です。この装置を用いることで、ピコ〜フェモトルオーダーの分子でも精密質量分析が可能です。試料中に含まれる成分の分子組成を決定ことができ、未知試料の分析に力を発揮します。また、生体組織切片や材料中に含まれる目的分子の局在を可視化する、質量分析イメージングを行うこともできます。JAISTにはこの他、MALDI-TOF/TOF MSやGC-TOF MSなど多様な質量分析装置が揃っています。研究内容に沿って低分子化合物から高分子材料、タンパク質などの生体分子まで、物性の異なる様々な試料に対応することができます。



脳血流活性度検知装置



本装置は10台の小型光トポグラフィ装置から成り、10人の脳活動を同時計測可能です。たとえばグループワーク時に参加者に装着してもらくと、各人の集中状態がリアルタイムに把握できます。コンサートなどのコンテンツ評価ができるほか、より効果的な講義やセミナーの設計などに活用できるでしょう。コミュニケーション記録装置と組み合わせると交流と脳活動の相関などが分析できます。脳機能研究の対象を個人からグループへと広げる可能性を秘めています。

核磁気共鳴装置 (NMR)



NMRでは、強磁場にさらされた原子核のスピンの磁気共鳴スペクトルを測定します。共鳴周波数は磁場の強さと核種によってほぼ決まりますが、核のまわりの状況を反映した少しのずれ(化学シフト)から原子配置や電子構造などに関する情報が得られるため、有機化合物、高分子化合物、タンパク質などの構造解析にはなくてはならないものです。JAISTには、プロトンの共鳴周波数が800、500及び3台の400MHzの装置が揃っており、学生は500MHz以下の装置を使用できます。

透過電子顕微鏡 (TEM)



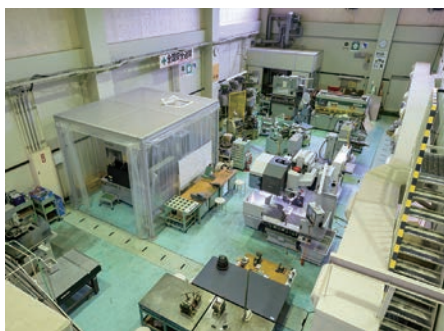
TEMとは、電子を高速に加速して試料薄片を透過させ、電子レンズを用いて拡大し結像させることで、物質の微細な構造を観察する装置です。加速された電子の波長は可視光の波長より非常に短いため、光学顕微鏡より高い分解能で観察することが可能です。JAISTには加速電圧が200kV及び100kVのものがあり、通常、学生が使用できる100kVのTEMは、分解能が0.2nm(格子像)、0.36nm(粒子像)です。微小な観察領域に含まれる元素を同定する装置も備っています。

超伝導量子干渉型磁束計 (SQUID)



ジョセフソン接合を有する超伝導体リングから構成される超伝導量子干渉素子(SQUID)は、超伝導体の量子干渉効果により、リングを貫く磁束量子の増減を電流変化として検出できるものです。このSQUIDを磁束計として用いることで、本装置では地球磁場の1万分の1の微小な磁束変化を高精度に検出することができ、様々な試料の磁化(磁化率)について測定することができます。また、コンピュータ上で簡単な測定シーケンスを組めば、磁場や温度の制御、測定データ取得、ヘリウムガスの液化・充填を全自動で行うことができます。磁性薄膜や磁性ナノ粒子など新材料分析や、それらを利用したスピントロニクス素子の開発に活用されています。

工作室



工作室は、機械加工技術・電気電子工作技術・3次元造形技術を活かせる各種工作機器を用いて、利用者のニーズに合わせた部品や装置の設計・開発・試作を行うことで先端的な研究をサポートします。また、工作室で工作機械を利用するための個別工作講習は、スタッフと相談の上いつでも受講することが可能です。さらに、工作室Webサイトでは、機械設計図面の作図知識や、3D-CAD(Computer-Aided Design、コンピュータ支援設計)の使用法などの習得を支援するコンテンツを用意しており、独創的な研究を行うためのモノづくりの要素技術を養うことができます。

遠隔講義/会議システム



距離的に離れた地点にいる学内外の研究者や学生と簡単に講義や会議を行うことができるシステムです。自拠点の映像・音声を収録するカメラ・マイク、他拠点の映像・音声の出力、アナログ/デジタル信号変換やデジタル信号の送受信を行うコーデックといった機器を比較的小さな筐体にまとめた専用機器となります。映像・音声の送受信にあたってはインターネットベースのリアルタイム通信に関する標準規格に対応しており、Full HDの高品質なカメラ映像に対応したTV会議を実現することができます。また、同様の機能をPC上で利用できるWeb会議サービスもサポートしており、自由に利用することができます。

JAISTの情報環境

JAISTでは、最先端の研究を組織的に遂行するため、高度で先進的な情報環境を提供しています。

情報基盤センターが情報環境をサポートしています

JAISTは、ネットワークでつながれた様々な機器で構成されるシステム全体を情報環境として捉えています。情報環境は、情報の生成・蓄積・利用など情報に関わるあらゆる局面を支援する総合システムです。JAISTの情報環境を提供・管理・運用し、以下のサポートを行っています。

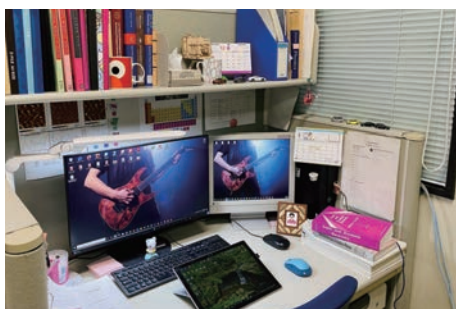
1 超高速学内LAN

JAISTの学内LANは、100/40/10Gbpsの高速バックボーンスイッチと各棟各フロアに置かれたフロアスイッチにより構成された、低遅延・広帯域のネットワークです。これにより各研究室の情報端末から、インターネットや学内の各種サーバ群、大規模並列計算機環境へ快適なアクセスができます。

東京サテライトとは10Gbpsの高速回線で接続されており、石川キャンパスと同じ情報環境が利用できます。また、学内のほぼ全域で無線LAN (IEEE802.11ac) サービスを提供しており、一部エリアではWi-Fi 6 (IEEE 802.11ax) も利用できます。また、学生寄宿舎の各部屋までイーサネットケーブルが配線されています。最大1 Gbpsの速度で学内LANへの接続が可能であり、自室での研究活動に活用できます。

2 Windows/UNIX環境

Windows環境とUNIX環境 (Linux) が整備されており、自由に利用できます。Windows環境ではMicrosoft Officeなど様々なアプリケーションを利用できます。UNIX環境でも各種言語の開発環境や論文作成を支援する様々なアプリケーションを提供しています。Windows/UNIX環境を用いて、実習やプロトタイピングなどを行います。これらの環境は学生向け貸与端末からはもちろんのこと、個人用/研究用PCやタブレット端末からも利用できます。



3 貸与端末

石川キャンパス正規学生の全希望者に対してタブレットPCを貸与しています。このタブレットPCは、電子メールの送受信や講義アーカイブへのアクセス、オンラインミーティングへの参加等の基本的活動のための端末としてだけでなく、JAISTクラウド (Windows/UNIX環境) や大規模並列計算機環境、ファイルサーバ群など、本学の高度な情報環境へアクセスするための「窓」として利用できます。

4 データストレージ

教育・研究・事務処理などで生成・蓄積・利用される情報を収容する大容量・高速のファイルサーバ群を整備しています。Windows環境/UNIX環境のデータは集中的にこのファイルサーバ群に保存されるため、学内のあらゆる場所から自由に参照できます。この保存されたデータのバックアップは自動的に行われるため、ユーザは安心して研究に専念できます。

また、簡単な操作でデータの保存、他者とのデータの共有が行えるクラウドストレージサービスがあります。

5 電子メール

研究活動に電子メールの利用は不可欠です。JAISTでは大容量のメールサーバを整備しており、1人あたり50GBのメールボックスを提供しています。電子メールを読む方法としてPOPの他にIMAPやWebメールをサポートしており、複数の環境から電子メールの送受信を快適に行える環境になっています。また、PC以外にも、スマートフォン、タブレット端末等からもアクセスできます。



6 ソフトウェア

教育・研究活動を支援するために各種ソフトウェアを提供しています。これらのソフトウェアは、共同利用端末、学生・教職員が利用する端末で使用することができます。

■主なソフトウェア

- 文章作成・編集ソフトウェア
Microsoft 365
Overleaf(LaTeX)など
- 技術計算ソフトウェア
Matlab
Mathematica
Materials Studio など
- オンラインミーティング
Zoom 等

7 大規模計算機環境

大規模な科学技術計算を実行し、大量のデータを同時に扱うことのできる計算環境として、様々なアーキテクチャの計算ノードからなる大規模計算機に各種商用/非商用の計算用ソフトウェアを備え、コンテナを用いた環境カスタマイズにも対応できます。データストレージと連携し、他システムとのデータ共有を標準でサポートする先進的な計算機環境を提供しています。

8 ユーザルーム

24 時間利用できるユーザルームを設置しています。最大 60 インチ幅で印刷できる大判プリンタ、フルカラーでくるみ製本のできる複合機、簡易製本機など特殊な印刷関連機器等を提供しています。

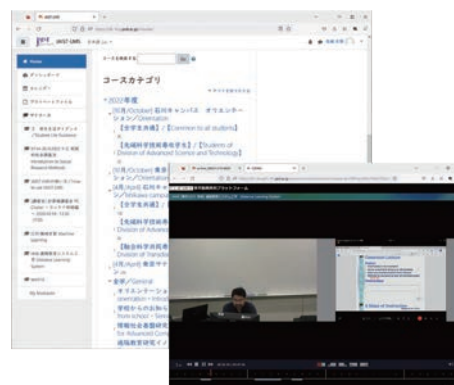
9 セキュリティ

JAISTでは学内LANにPCを接続する場合にはアンチウイルスソフトウェアをインストールすることを義務付けています。個人用PCでも利用できるWindows/macOS用アンチウイルスソフトウェアを情報社会基盤研究センターのWebページからダウンロード、インストールして在学中無料で利用できます。学内LAN上にセキュリティ上問題のあるパソコンがないか、複数のシステムで検出しています。

また、国立情報学研究所 (NII) のUPKI電子証明書発行サービスを学生利用者等に提供しています。電子証明書管理システムから電子証明書を入手することで、無線LANに接続したり、統合認証基盤システム (JAIST-SSO) での認証に利用したりできます。

10 講義アーカイブシステム

講義室で行われた講義を自動で収録 (アーカイブ) し、JAIST-LMSからいつでも (オンデマンド) 視聴できるシステムです。収録対象講義はシラバスに記載されています。過去年度のアーカイブ講義も視聴できるため、講義の予習・復習に活用することができます。





JAISTでは、50%以上の学生が各種奨学金等の修学サポートを受けています。

1

JAIST 学生給付奨学金をはじめとする JAIST 独自の奨学支援制度

JAISTでは、学生が経済的に自立した大学院生活をおくることができるように、給付型奨学金をはじめとする様々な独自の奨学制度を用意しています。

1 JAIST 学生給付奨学金（給付型奨学金：原則返済不要）

優秀な学生に対して支給する学生給付奨学金には、教育プログラム等に応じて様々な種類があります。

種 類		選 抜	給付人数	給付総額	給付期間
				博士前期課程在籍時	
博士前期課程 奨学金	特別採用2年次	一般選抜、随時特別選抜、 推薦入学特別選抜	学業成績上位者	授業料の全額相当	1年 (2年次)
	一般採用2年次		学業成績上位者	授業料の半額相当	

■ 令和7年度採用実績

種 類 等		博士前期課程
博士前期課程 奨学金	特別採用2年次	21名
	一般採用2年次	38名



2 北陸先端科学技術大学院大学Uターン奨励金（返済不要）

高校又は高専卒業時に、能美市、小松市又は加賀市に居住した者が、JAIST進学のため、県外から3市のいずれかにUターンをして居住することとなる場合に、Uターン奨励金として、月額5万円を毎月支給します。

3 北陸先端科学技術大学院大学博士論文研究基礎力審査奨励金（返済不要）

5Dプログラムの学生のうち本学が実施する博士論文研究基礎力審査に合格した者であって、博士後期課程に進学する者に、進学後から月額3万円を毎月支給します。

4 JAISTでの雇用型奨学金（返済不要）

JAISTでTA、UA、RA、LAとして雇用され給与を受けることもできます。給与は時期、在籍する課程等により異なりますが、採用された場合は月額で数万円から、最大で15万円程度受けることができます。

また、留学生のためのチューター制度、学生相談員、見学者学内案内、各種大学イベント補助者など様々な学内での雇用による経済支援制度があります。

TA

Teaching Assistantの略で、博士後期課程と博士前期課程の在籍学生が対象です。博士前期課程の学生に対し、教員の指導の下、授業の補助業務を行います。

UA

University Assistantの略で、博士後期課程学生（社会人コース学生等を除く。）の在学生のうち、希望する学生全員が採用され、教員の指導の下、研究補助業務を行います。当該業務の従事時間に応じ、年間最大で60万円程度受けることができます。

RA

Research Assistantの略で、博士後期課程の在籍学生が対象です。教員の指導の下、実習、実験の補助を行います。

LA

Laboratory Assistantの略で、博士前期課程の在籍学生が対象です。研究科等が設定した課題の研究活動に必要な補助的業務を行います。

5 入学料・授業料の減免制度等

入学料免除制度

経済的理由により、入学料の納付が困難であり、かつ学業成績が優秀であると認められる者について、入学料の全額又は半額を免除する制度です（国費留学生、企業派遣学生等は対象外）。申請者の中から選考の上、特に生活困窮度の高い順に入学料免除者を決定します。

入学料徴収猶予制度

経済的理由により、納付期限までに納付が困難であり、かつ学業成績が優秀であると認められる者について、入学料の徴収を猶予する制度です（4月入学の場合、6月末日まで猶予）。申請者の中から選考の上、生活困窮度の高い順に入学料徴収猶予者を決定します。

授業料免除制度

経済的理由による授業料免除制度
経済的理由により、授業料の納付が困難であり、かつ学業成績が優秀であると認められる者について、授業料の全額又は半額を免除する制度です（国費留学生、企業派遣学生等は対象外）。申請者の中から選考の上、特に生活困窮度の高い順に授業料免除者を決定します。

Maプログラムによる授業料免除制度
Maプログラム（専攻分野変更者等を対象とした基礎教育を重視して行う2年以上3年以内の博士前期課程の教育プログラム）において、2年を超えて在学する学生に対して、2年を超える在学期間に係る授業料を全額免除します。

区分	入学料	授業料
博士前期課程	282,000円	(前・後期各) 267,900円
博士後期課程		(年 額) 535,800円

6 JAIST 支援財団からの支援

JAIST 支援財団からの助成金、奨励金があります。なお、助成が終了後、北陸3県の企業等に2年間以上継続して勤務した場合は、返還免除となります。

令和7年度受給実績

種 類 等	博士前期課程	博士後期課程	計
JAIST 支援財団奨学助成金（月額／30,000円貸与）	1名	1名	2名
JAIST 支援財団奨学助成金（月額／50,000円給付）	2名	0名	2名
計	3名	1名	4名

7 学生貸付金制度

病気、天災その他の理由による困窮度が一時的に高まり、かつ、学業及び生活の維持がきわめて困難であるとき無利子で貸付けます。

■利用実績 (令和7年度実績)

申請件数	採択件数	合計金額 (千円)
5	4	867

8 その他の経済支援

キャリア形成活動費支援として、企業説明会・セミナーや企業等の採用試験等のキャリア形成活動に係る交通費等を助成します。また、国内外での活動を支援するため、博士後期課程学生を対象とした国際会議・国際学会等での研究発表や国内外の機関での研究留学・インターンシップ等への費用助成制度があります。

■北陸先端科学技術大学院大学支援財団学生研究奨励金

区 分	申請件数	採択件数	平均支給額 (千円)	合計金額 (千円)
令和7年度	49	49	150	7,000

■研究留学助成制度 (令和7年度実績)

区 分	派遣先	派遣件数
国 外	Commonwealth Scientific and Industrial Research Organisation (オーストラリア)	1

2

日本学生支援機構奨学金(貸与) [URL : <https://www.jasso.go.jp/>]

■応募資格

人物・学業成績ともに優秀で、前年の年間収入額(定職、アルバイトによる収入、両親・配偶者からの援助、奨学金などのあらゆる収入の合計)が一定基準以下であり、また、申込時現在の収入で推算した今年の収入見込合計金額が、収入基準額以下であれば応募可能です。

■返還方法

貸与終了の翌月から数えて7か月目の月(3月に貸与終了した場合は10月)から返還。第一種(無利子)奨学金貸与者には、特に優れた業績を挙げた者に対する返還免除制度があります。

■第二種奨学金

第二種は利子付きですが、在学中は無利子、利子算定方法として利率固定式を選択した場合、貸与終了時の市場金利を元に金利を定め(上限金利は3%に固定しています)返還時の元利合計が計算され、元利均等で返還していきます。また、返済猶予制度があり猶予期間中は無利子です。



■収入基準額（年額）

区 分	博士前期課程		博士後期課程	
	本人が給与取得者	本人が給与取得者以外	本人が給与取得者	本人が給与取得者以外
第一種 授業料後払い制度	299万円	197万円	340万円	223万円
第二種	536万円	364万円	718万円	503万円
併用	284万円	188万円	299万円	197万円

※収入については、2023年(1月～12月)の収入に基づく2024年度住民税情報により算出された貸与額算定基準額が上表に該当するか審査を行います。なお、第一種奨学金及び授業料後払い制度については基準額を超えていても採用される場合があります。

※配偶者がいない場合の目安です。

※表中の数字はあくまで目安です。家計基準は2023年の収入・所得に基づく住民税情報等により設定されているため、世帯構成、障がい者の有無等により、目安の金額を上回っていても対象となる場合や下回っていても対象とならない場合があります。

■貸与金額・貸与期間

区 分		博士前期課程	博士後期課程
貸与月額	第一種（無利子）	5万円、8万8千円から選択	8万円、12万2千円から選択
	授業料後払い制度 （無利子）	授業料支援金（無利子）：上限額535,800円（年額） 生活費奨学金（無利子）：月額0円（利用しない）・ 20,000円・40,000円の中から選択	
	第二種（有利子）	5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択	
貸与期間		当該課程の標準修業年限以内	

■日本学生支援機構奨学金 採用率（令和7年度在学者）

区 分	第一種			授業料後払い制度（無利子）			第二種		
	申請数	採用数	採用率	申請数	採用数	採用率	申請数	採用数	採用率
博士前期課程	40	40	100	5	5	100	22	22	100
博士後期課程	10	10	100				1	1	100
計	50	50	100	5	5	100	23	23	100

3

未来創造イノベーション博士人材支援プログラム（JAIST-SPRING 研究員）、
未来創造次世代AI博士人材育成プログラム（JAIST-BOOST 研究員）

■未来創造イノベーション博士人材支援プログラム（SPRING）

挑戦的・融合的な研究を通じて我が国の科学技術・イノベーションの将来を担う優秀な志ある博士後期課程学生に対し、生活費相当額の研究奨励金及び研究費を支給するとともに、キャリア開発・育成の機会を提供します。

支援人数	各学年15人
研究奨励金	15万円（月額） ※年次評価により優秀と判断された研究員は、月額18万円または月額20万円に増額
研究費	40万円（年額）+追加研究費 ※追加研究費として、年度の途中で学生の計画に基づき配分することがあります。

■未来創造次世代AI博士人材育成プログラム (BOOST)

将来的に次世代AI分野を開拓・牽引していこうという志と能力を持ち、独自の発想に基づく次世代AI分野 (AI分野及びAI分野における新興・融合領域)の研究を行う優秀な博士後期課程学生に対し支援を行い、高い研究成果を求めます。次世代AI分野を担うリーディングサイエンティストとして成長できるよう、本学のAI関連分野の教員や外部有識者から成る育成チームによる定期的な勉強会や個別面談を通じた支援が行われます。

支援人数	各学年2人
研究奨励金	月額20万円
研究費	年額150万円

※JAIST-SPRING 研究員及びJAIST-BOOST 研究員のいずれも融合科学共同専攻奨学金の併用はできません。

4 日本学術振興会 (JSPS) 特別研究員 (DC1、DC2)

優れた若手研究者に、自由な発想のもと主体的に研究課題を選び、研究に専念できる機会を研究生活の初期において与えるため、特別研究員として採用し、研究奨励金を支給する制度です。

博士後期課程在学者で、優れた研究能力を有し、大学あるいは研究機関で研究に専念することを希望する者が採用されます。また、採用者は、申請書記載の研究計画を行うための研究費として、科学研究費助成事業 (特別研究員奨励費) の助成を受けることができます。

	応募資格	採用期間	研究奨励金	
DC1 (博士後期課程1年次在学者)	博士前期課程2年次在学者	3年間	22万7千円 (※) / 月額	※令和8年度以降に採用された者の金額 (今後変更される可能性あり)
DC2 (博士後期課程2・3年次在学者)	博士後期課程1・2年次在学者	2年間	22万7千円 (※) / 月額	

5 本学を対象とした他団体からの奨学金 (留学生)

留学生対象

■令和7年度受給実績

種類等	博士前期課程	博士後期課程	研究生 特別研究学生も含む	計
日本政府奨学金 (国費外国人留学生)	31名	36名	5名	72名
学習奨励費 (月額 / 48,000円)	29名	0名	0名	29名
石川県私費外国人留学生奨学金 (月額 / 20,000円)	11名	0名	0名	11名
三谷育英会 (月額 / 53,000円)	1名	1名	0名	2名
澁谷学術文化スポーツ振興財団奨学金 (年額 / 500,000円)	2名	1名	0名	3名
ロータリー-米山記念奨学会 (月額 / 140,000円)	1名	3名	0名	4名
T. バナージインド留学生奨学金 (月額 / 100,000円)	1名	0名	0名	1名
KDDI財団外国人留学生助成 (月額 / 100,000円)	0名	2名	0名	2名
JEES 留学生奨学金 (修学) (月額 / 40,000円)	1名	0名	0名	1名
JEES日本語修学支援金 (月額 / 50,000円)	2名	0名	0名	2名
朝鮮奨学会 (月額 / 博士前期: 40,000円・博士後期: 70,000円)	1名	1名	0名	2名
平和中島財団外国人留学生助成 (月額 / 150,000円)	0名	1名	0名	1名

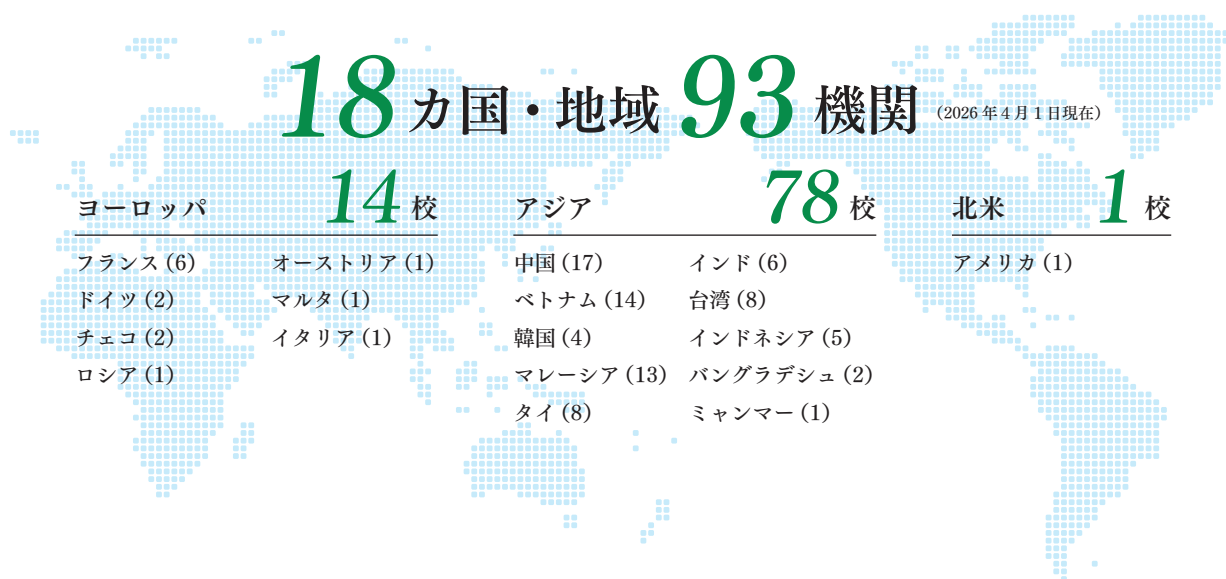
FOCUS 05 国際交流



積極的な国際交流により、留学生も多数在籍しており、日常的に語学能力や国際感覚が身につく環境を提供しています。

学術交流協定

世界をリードする研究を推進して、国際社会に貢献できる人材を育成するため、海外の大学や研究機関との人的交流及び共同研究を通して、積極的に国際的な学術交流に取り組んでいます。



Campus Life

生活シミュレーション ————— P.34

学生寄宿舍等 ————— P.35

福利厚生施設 ————— P.36

附属図書館 ————— P.37

JAIST 周辺MAP ————— P.39

生活シミュレーション

オン・オフのメリハリをつけて 研究に没頭できる理想の環境



博士前期課程 西村研究室 (AI 知性研究領域)

国見 有 さん

大学は教育学部。改めて学び直す機会を求めて大学院への進学を決め、文系出身者にもチャンスが開かれるJAIST、中でも日本唯一の知識科学領域を選択しました。元々携わったスポーツの研究と共通点のある西村研究室へ。今は人体の動きを分析し、改善するバイオメカニクス分野の研究をしています。理学療法士と連携のもと、ダンサーと運動習慣のない人それぞれの体にセンサーを付け、取得したデータから動きの違いを見つけます。新たな発見を見出し、英文ジャーナルにまとめることが目標。日々の研究の成果がリハビリなどの現場に貢献できたらと思います。研究室では学生の思いを尊重してくれ、私は入学後すぐ就活を優先させてもらったおかげで、早々に就職先が内定しました。

自然豊かな立地ゆえ、邪念にとらわれずに研究に集中できる環境も利点。外国人留学生が多く、日常的に英語が飛び交う雰囲気もJAISTならではの。私が住む学生寄宿舍は徒歩5分の近さ。5帖のワンルームにミニキッチン付きで、昼食は学食、夕食は自炊が中心です。ランドリールームとバスルームが共用ですが、毎週清掃していただけるので快適。ユニークなサークル活動も多く、リフレッシュにうってつけ。私は社交ダンスサークルに参加し、猛練習して大会に出場した経験も。最近は学内の施設でテニスや卓球に熱中し、週末はアルバイトと、充実した生活を過ごしています。誰にとってもやりたいことが見付き、それを叶える環境がすべて揃っているのがJAISTなのです。

1日のタイムスケジュール

9	9:00	ジムにてトレーニング	
10	10:00	研究室へ	
11			
12	12:00	学食にて昼食	
13	13:00	再び研究室へ	
14			
15			
16			
17			
18			
19	19:00	寮に戻り夜飯を作る	
20	20:00	フリータイム	
21			
22			
23	23:00	就寝	

研究室の仲間と情報交換

金沢のモノづくり会館で開催されたダンス大会

萩原礼奈さんとお二人で出場

[家計簿]

住居：学生寄宿舍

■主な生活費

食	費	30,000円
居住・光熱費		15,000円
通信費		3,000円
合	計	48,000円



研究室は寄宿舍から徒歩5分。研究に集中できる環境が整っています。

キャンパスライフ

学生寄宿舍等



学生寄宿舍及びJAIST HOUSEを含む
大学敷地内は完全禁煙です。

学生寄宿舍

学生寄宿舍はキャンパス内にあり、単身室、夫婦室、家族室が設置されています。学生寄宿舍では、各部屋から学内LANに接続が可能です。テレビは、地上デジタルに対応しており、その他、BBC、CNNの視聴ができます。駐車場については、大学を通じて申し込むことで利用できます(車庫証明も取得可能)。

単身室 (533室)

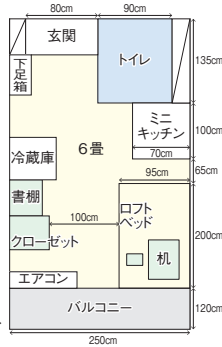
■居室：ワンルーム

■設備：

居室：ミニキッチン、トイレ、エアコン(冷暖房)

共用：ユニットバス(各階に3~4室)、
ランドリースペース、集会室、和室、
談話室

■家具：高床式ベッド、机、椅子、本棚、
下駄箱、クローゼット、冷蔵庫



寄宿料等

- ① 寄宿料：12,540円/月
- ② 水道・電気・ガス料、居室の使用分
- ③ 前納金※ 40,000円

月額 / 1万3千円~1万6千円 (①+②)



キャンパス内に立地(学生寄宿舍)

学生寄宿舍単身室



共用のユニットバス、ランドリースペース
(学生寄宿舍単身室用)



JAIST HOUSE単身室

夫婦室 (33室)

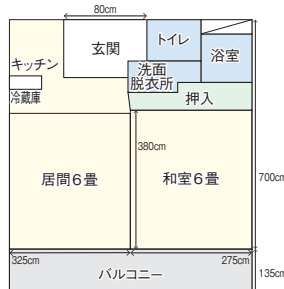
■居室：1LDK

■設備：

居室：キッチン、浴室、トイレ、
エアコン(冷暖房)、
ランドリースペース

共用：集会室、和室

■家具：机、椅子、本棚、下駄箱、
洋服ダンス、洗濯機、乾燥機、
冷蔵庫、食卓用テーブル、
食卓用椅子(2脚)



寄宿料等

- ① 寄宿料：14,920円/月
- ② 水道・電気・ガス料、居室の使用分
- ③ 前納金※ 50,000円

月額 / 1万7千円~2万円 (①+②)

家族室 (33室)

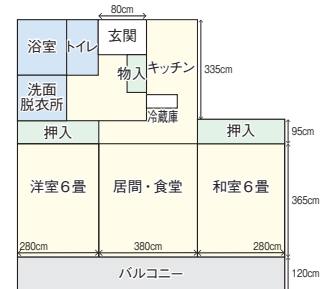
■居室：2LDK

■設備：

居室：キッチン、浴室、
トイレ、エアコン(冷暖房)、
ランドリースペース

共用：集会室、和室

■家具：机、椅子、本棚、下駄箱、
洋服ダンス、洗濯機、乾燥機、
冷蔵庫、食卓用テーブル、
食卓用椅子(4脚)



寄宿料等

- ① 寄宿料：17,220円/月
- ② 水道・電気・ガス料、居室の使用分
- ③ 前納金※ 60,000円

月額 / 2万5千円前後 (①+②)

JAIST HOUSE (単身室・30室)

JAIST HOUSEは、他の学生寄宿舍と同じくキャンパス内にあります。軽量鉄骨造スレートぶき2階建ての建物で3棟。3棟とも単身用で計30室があります。各部屋から学内LANに接続が可能です。駐車場は、大学を通じて申し込むことで利用できます(車庫証明も取得可能)。

■居室：ワンルーム

■設備：

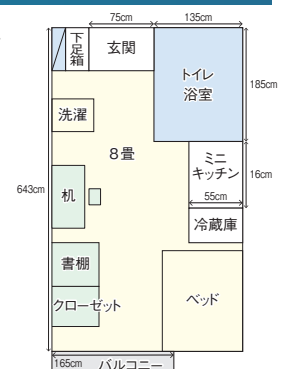
居室：キッチン、ユニットバス、下駄箱、TVインターホンなど
共用：掲示板(各棟各階)

■家具：ベッド、机、椅子、本棚、更衣ロッカー、洗濯機、電子レンジ、
エアコン、冷蔵庫、遮光カーテン、物干し竿、延長コード

寄宿料等

- ① 寄宿料：16,350円/月
- ② 水道・電気・ガス料、居室の使用分
- ③ 前納金※ 40,000円

月額 / 2万5千円前後 (①+②)



※ 前納金は退去時に清掃費・修繕費等を差し引いて返金します。

附属図書館

附属図書館のコンセプト

附属図書館は、「24時間開館」「研究図書館」「電子図書館」の3つをキーワードとして運営されており、アクセシビリティや蔵書構成において大学院大学にふさわしいクオリティを備えた研究図書館を実現しています。

[24時間開館]

研究活動が終日であることに合わせて、附属図書館も24時間年中無休で開館しており、資料が必要な時にいつでも自由に閲覧できる全面開架方式を採用しています。貸出についても、自動貸出装置を導入しているため、24時間可能です。

[研究図書館]

先端科学技術研究を力強くサポートする研究図書館として、高度に専門的・先端的な学術資料および情報を重点的に収集しています。

[電子図書館]

電子的学術資料の充実を図っており、利用者は整備された学内情報ネットワーク環境を活用して、蔵書目録はもちろん、電子ジャーナルや電子ブック、各種データベース等を利用することが可能です。

利用方法の特徴

閲覧

24時間、年中無休で開館しています。いつでも自由に閲覧できるよう、全面開架方式をとっています。附属図書館の入館ゲートは、学生証で通過できます。

貸出

貸出はセルフサービスです。自動貸出装置を設置しているため、いつでも貸出可能です。貸出冊数制限はありません。

オンラインサービス

最先端の研究を支えるために、研究室の自席のパソコン、あるいは自宅のパソコンから、電子図書館としての利用も可能です。蔵書やデータベースの検索、電子ジャーナルの閲覧、文献複写依頼や図書の借用依頼、図書の購入リクエストなど、研究をサポートする様々なサービスを利用できます。

1 電子ジャーナル・電子ブック

電子ジャーナル約5,700タイトルを導入しており、学術雑誌、学会論文誌、プロシーディングの全文が無料で入手できます。また、SpringerのLNCSシリーズをはじめとした電子ブックも提供しています。電子ブックのタイトルは随時追加しています。

2 各種データベース

Scopus (全分野の抄録・引用文献データベース) および IEL Online (IEEE・IETのフルテキストデータベース) を無料で利用できます。

3 蔵書検索と貸出予約

附属図書館内の蔵書はもちろん、研究室配架の図書、本学以外の大学図書館の蔵書が検索できます。貸出中の図書については貸出予約、研究室配架の図書については借用依頼ができます。

4 学外の図書の借用

JAIST にはない図書は、大学図書館間の連携 (ILL) により、全国の大学図書館から借用が可能です。郵送料のみの負担で借用できます。

5 石川県内公共図書館の図書の借用

石川県立図書館や県内の公共図書館の蔵書を無料で借用できます。蔵書の検索には、石川県内図書館横断検索システムが利用できます。

6 専門図書購入のリクエスト

学習・研究に必要な図書を、一人につき年間7冊までリクエストすることができます。





JAIST 学術研究成果リポジトリ

リポジトリとは、容器、貯蔵庫、倉庫、集積所などの意味を持つ言葉です。JAISTの研究者や学生達によって生み出された成果を電子的な形態で収集・蓄積・保存し、無料で学内外に公開しています。博士論文、修士論文、リサーチレポートを含みます。キーワードに関連する論文や教員を容易に検索できる機能があるので、研究の応用範囲を調べたり、副テーマを探す際に利用できます。

JAIST Press

JAISTの知的刊行の担い手として学術図書を刊行するのがJAIST Pressです。教育を円滑に推進すること並びに研究の成果を普及し、及びその活用を促進することを目的としています。出版物の販売はインターネットによるオンデマンド方式で行っています。



JAIST 周辺MAP



金沢駅 (金沢市)

おもてなしの心を表した「もてなしドーム」、伝統芸能に使われる鼓をイメージした「鼓門」は金沢のシンボルとして親しまれています。



タテマチ・片町・香林坊 (金沢市)

ファッションや雑貨、飲食店などさまざまなショップが軒を連ねる賑やかな通り。若者達の流行発信エリア。



ひがし茶屋街 (金沢市)

浅野川大橋近く、今も昔のおもかげを残したお茶屋建の古い家や料亭が軒を連ねています。



金沢21世紀美術館 (金沢市)

コンテンポラリーアートの殿堂として金沢中心地に誕生した現代美術館。特徴的な建物は世界中からも注目を集めています。



兼六園・金沢城公園 (金沢市)

江戸時代の回遊林泉式庭園の特徴を今日に残す代表的名園で、日本の三名園と称されています。





のとじま水族館 (七尾市)

能登近海の魚を中心に約500種4万点の生きものを展示。トンネル水槽「イルカたちの楽園」や「アザラシ万華鏡」などのアイデア満載の展示が楽しめます。



獅子吼高原 (白山市)

ゴンドラで山頂まで上がると、加賀平野から遠く日本海まで美しい景観が見渡せます。人気のパラグライダースポットでもあり、BBQ場、飲食店なども設けるバラエティー豊かなプレイスポット。



千里浜なぎさドライブウェイ (羽咋市)

全国でも唯一、乗用車や自転車でも波打ち際を走行できるたいへん珍しい砂浜です。特に沈む夕日を見ながらのドライブはかなりの感動もの。



SAM白山 (セイモア、一里野) スキー場 (白山市)

大きく分けて4つのゲレンデと10のコースを有する人気のスキー場。金沢西、白山、美川、小松の各インターチェンジからアクセスしやすいのも魅力。



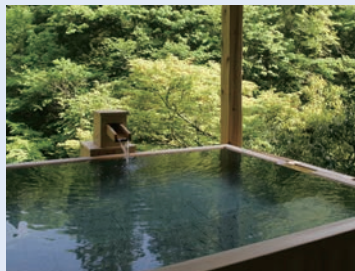
いしかわ動物園 (能美市)

丘陵地の地形を生かして動物の生息地をできるだけ再現し、約200種3800点を飼育。動物のフン等のリサイクルなどエコ動物園としての取組みも活発。トキの分散飼育でも注目されています。



辰口丘陵公園 (能美市)

緑豊かな丘陵地に、屋内コートを含め20面と県内随一の規模を誇るテニスコートを中心に、四季を通じて利用できる温泉プール、親子やグループで楽しめる変形ボート等を備えています。



辰口温泉 (能美市)、加賀温泉郷【粟津、片山津、山代、山中】(小松市、加賀市)

霊峰白山のふもと、手取川左岸流域に広がる山紫水明の地辰口温泉は、1,400年の歴史を持ち、多くの観光資源に恵まれています。



ひとつものづくり科学館 サイエンスヒルズこまつ (小松市)

日本最大級のドーム型3Dスタジ오는高解像度・高輝度で上映。敷地の内外には、科学の原理を楽しみながら体験する100の仕掛けがあります。

入試について

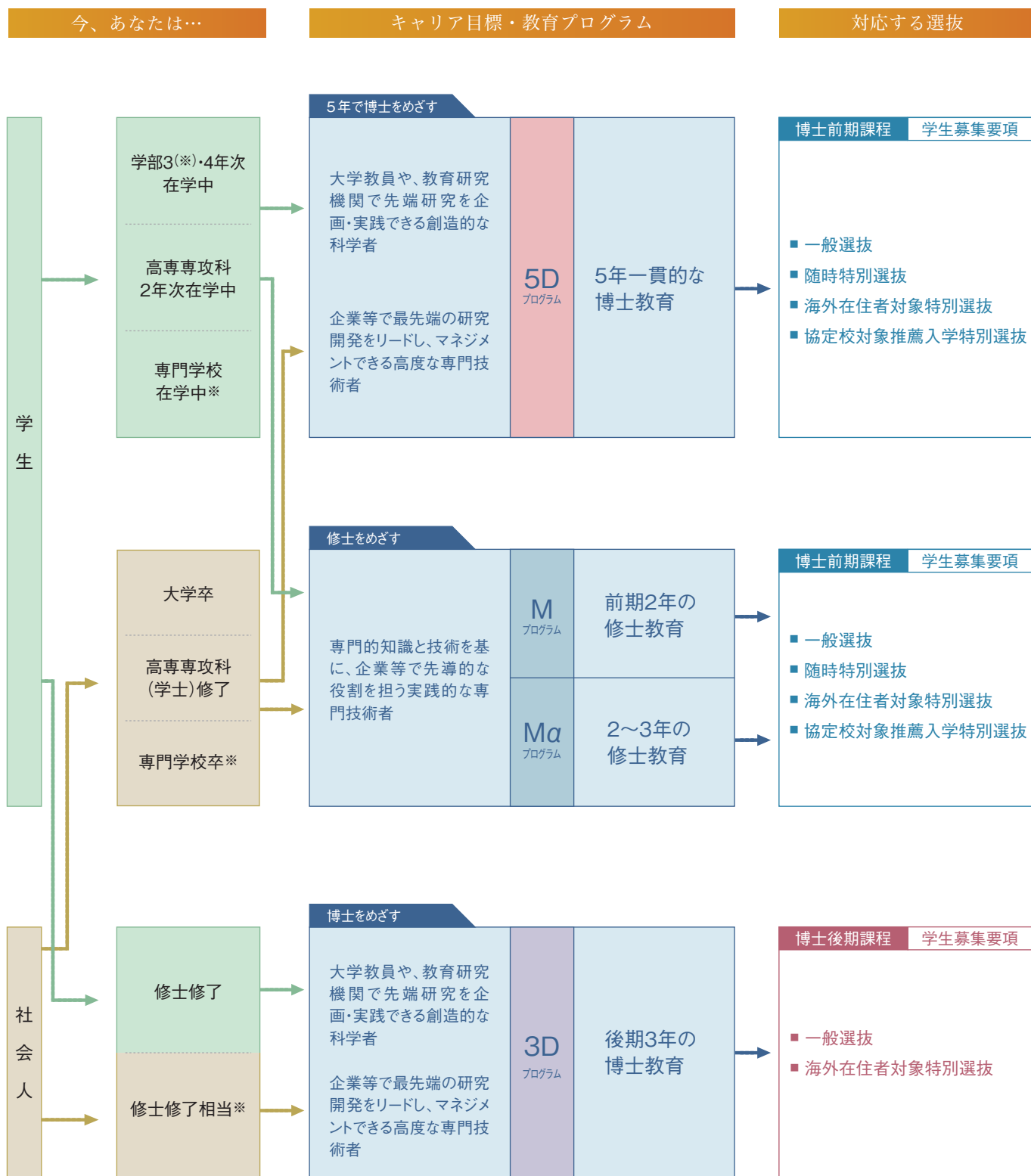
キャリア目標・教育プログラムと選抜試験 — P.42

入試日程 — P.43

イベント情報 — P.44

学生データ — P.45

キャリア目標・教育プログラムと選抜試験



※入学資格審査を要する場合がありますので、詳細は、募集要項の各選抜のページで確認してください。

入試日程

一般選抜の入試日程は以下の通りです。
出願の詳細は学生募集要項をご確認下さい。
学生募集要項は本学ホームページからダウンロード※して閲覧できます。



ホームページ(入学案内)

※紙媒体(冊子)の学生募集要項は作成していません。

博士前期課程(先端科学技術専攻) 一般選抜

令和8年10月入学

出願期間	試験期日(本学が指定した1日)	実施方法	合格者発表日
5月27日(水)～6月8日(月)	7月4日(土)・5日(日)	オンライン	7月17日(金)

令和9年4月入学

試験区分	出願期間	試験期日(本学が指定した1日)	実施方法	合格者発表日
第1回	5月27日(水)～6月8日(月)	7月4日(土)・5日(日)	オンライン	7月17日(金)
第2回	9月4日(金)～16日(水)	10月17日(土)・18日(日)		10月30日(金)
第3回	11月19日(木)～12月1日(火)	令和9年1月9日(土)・10日(日)		令和9年1月26日(火)

※一つの出願についての合否が発表される前に、本学の他の選抜試験には出願できません。

博士後期課程(先端科学技術専攻) 一般選抜

令和8年10月入学

試験区分	出願期間	試験期日(本学が指定した1日)	試験場所	合格者発表日
第2回	6月15日(月)～25日(木)	8月17日(月)～24日(月) (土・日及び祝日等を除く)	本学	9月4日(金)

令和9年4月入学

試験区分	出願期間	試験期日(本学が指定した1日)	試験場所	合格者発表日
第1回	6月15日(月)～6月25日(木)	8月17日(月)～24日(月) (土・日及び祝日等を除く)	本学	9月4日(金)
第2回	10月20日(火)～11月4日(水)	12月7日(月)～18日(金) (土・日及び祝日等を除く)		令和9年1月26日(火)
第3回	12月2日(水)～15日(火)	令和9年2月1日(月)～12日(金) (土・日及び祝日等を除く)		令和9年3月5日(金)

※一つの出願についての合否が発表される前に、本学の他の選抜試験には出願できません。

令和9年10月入学

試験区分	出願期間	試験期日(本学が指定した1日)	試験場所	合格者発表日
第1回	12月2日(水)～15日(火)	令和9年2月1日(月)～12日(金) (土・日及び祝日等を除く)	本学	令和9年3月5日(金)

※令和9年10月入学の第2回の試験日程は、来年度公表の学生募集要項に記載します。

イベント情報

JAISTのことをより深く知ってもらうために様々なイベントを実施しています。お気軽にご参加ください。各イベントの詳細、申込方法は随時ホームページに掲載します。

(※イベントの内容、日程等を変更する可能性があります。変更等に関しては、決定次第ホームページにてお知らせします。)

JAIST 入学案内

検索



ホームページ(入学案内)

大学院進学説明会（オンライン開催）

JAISTに興味をお持ちの方はもちろん、将来大学院への進学をお考えの方を対象とした説明会です。

実施内容 | 大学および教育研究組織の概要説明、質疑応答、在学生との懇談会

日程

日程	
春季	令和8年4月25日(土)
	令和8年6月27日(土)
夏季	令和8年7月25日(土)
	令和8年9月19日(土)
秋季	令和8年10月10日(土)
	令和8年11月14日(土)
春季	令和9年3月20日(土) ※令和9年10月以降入学志願者向け



受験生のためのオープンキャンパス（現地開催）

JAISTの魅力をご自身で体験していただき、より本学に興味を持っていただける機会として「受験生のためのオープンキャンパス」を開催します。

実施内容 | 大学概要説明、研究室オープン、研究紹介パネル展示、施設見学、在学生・事務職員による相談コーナー 等

日程・開催地等

日程	
第1回	令和8年5月23日(土)
第2回	令和8年8月29日(土)



●いつでも大学院進学相談会

石川キャンパス入学希望者対象(場所: 石川キャンパス)

ご希望の日程で、希望教員による研究領域及び研究室の説明のほか、学生寄宿舎、附属図書館などの施設見学を行います。

社会人コース等入学希望者対象(場所: 東京サテライト等)

ご希望の日程で、指導希望教員との面談を行います。

申込方法

JAIST HP「入学案内>いつでも・どこでも大学院進学相談会」の「いつでも大学院進学相談会」申込みフォームからお申込みください。

申込みの際に、オンライン・対面(本学を訪問)のどちらかをお選びいただけます。なお、対面をご希望の場合、必ずしもご希望に沿えるとは限りません。

●どこでも大学院進学相談会

参加人数が2名以上の場合、ご希望の場所で、本学教員による大学概要及び研究領域の説明を行います。

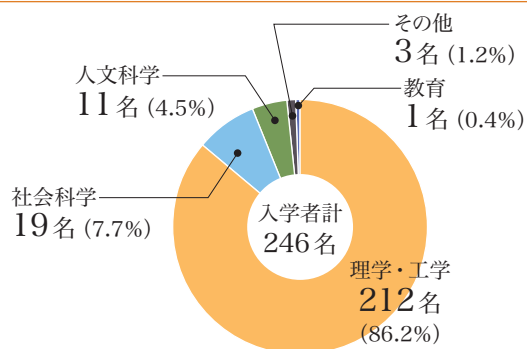
申込方法

学生獲得係 (nyugaku@ml.jaist.ac.jp) までメールでお問い合わせください。

学生データ

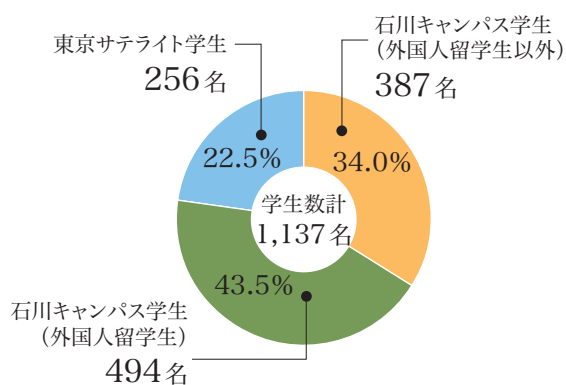
JAISTでは、出身分野を問わず、社会人・留学生を含め意欲のある人材を全国各地から広く受け入れています。

出身分野 令和8年4月博士前期課程(先端科学技術専攻) 入学者



学生比率

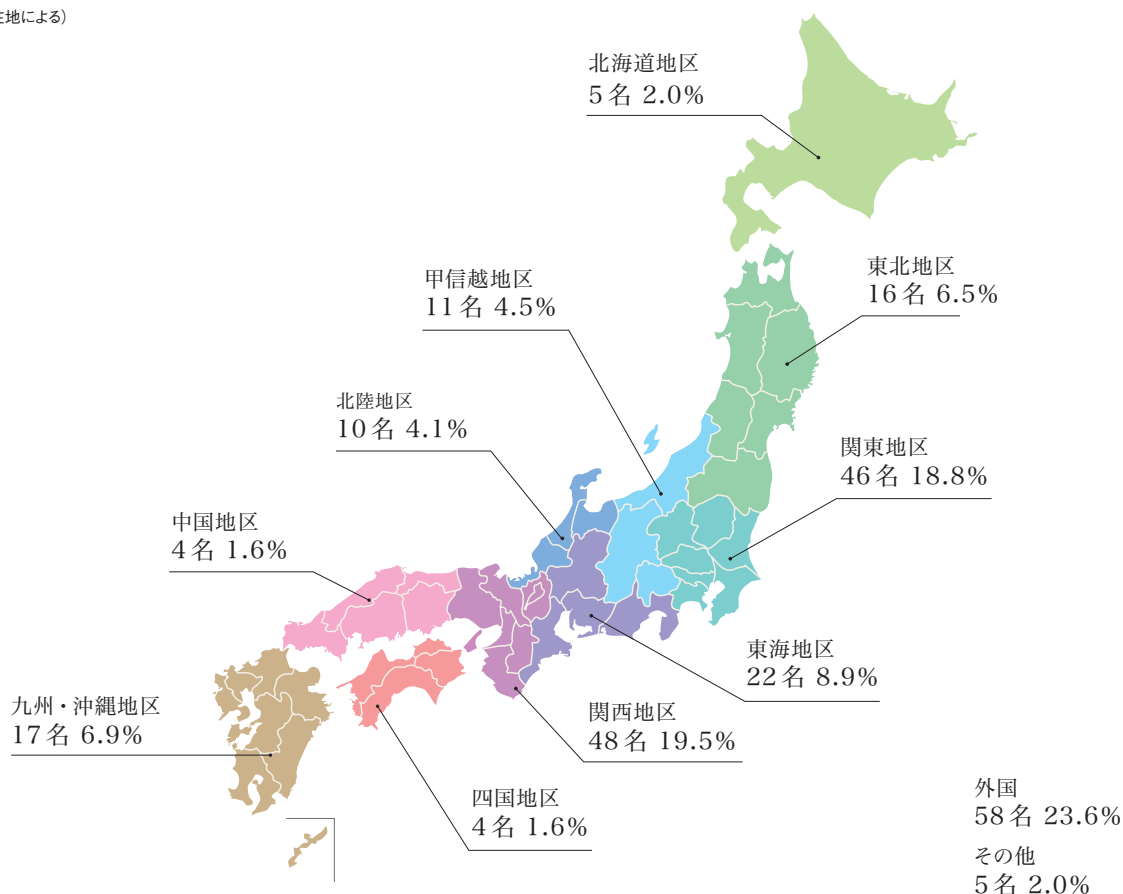
令和8年4月全在学者



出身地区別分布

令和8年4月博士前期課程(先端科学技術専攻) 入学者

(出身高校等所在地による)



キャンパスマップ



- | | | |
|----------------------------|---|-----------------------------------|
| 1 正門 | 7 情報科学棟
情報基盤センター | 12 体育館 |
| 2 本部棟 | 8 マテリアルサイエンス棟
ナノマテリアルテクノロジーセンター | 13 JAIST国際セミナーハウス |
| 3 大学会館（食堂） | 9 産学官連携棟 | 14 職員宿舎 |
| 4 附属図書館 | 10 売店、トレーニングルーム | 15 JAISTイノベーションプラザ |
| 5 エントランスホール | 11 学生寄宿舍 | 16 JAIST Shuttle（小松線）バス乗降場 |
| 6 知識科学棟
保健管理センター | | 17 JAIST Shuttle（鶴来線）バス乗降場 |
| | | 18 来客用駐車場 |



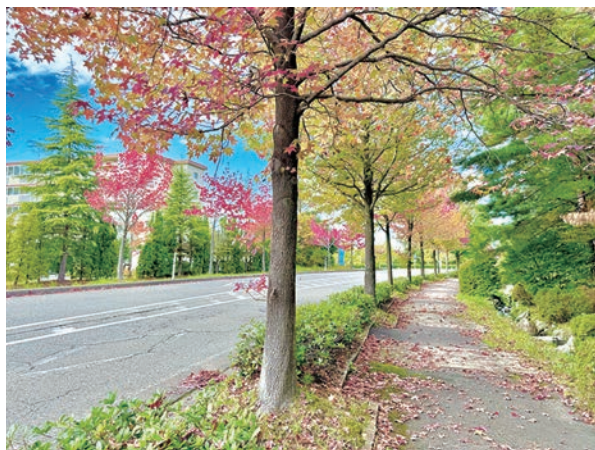
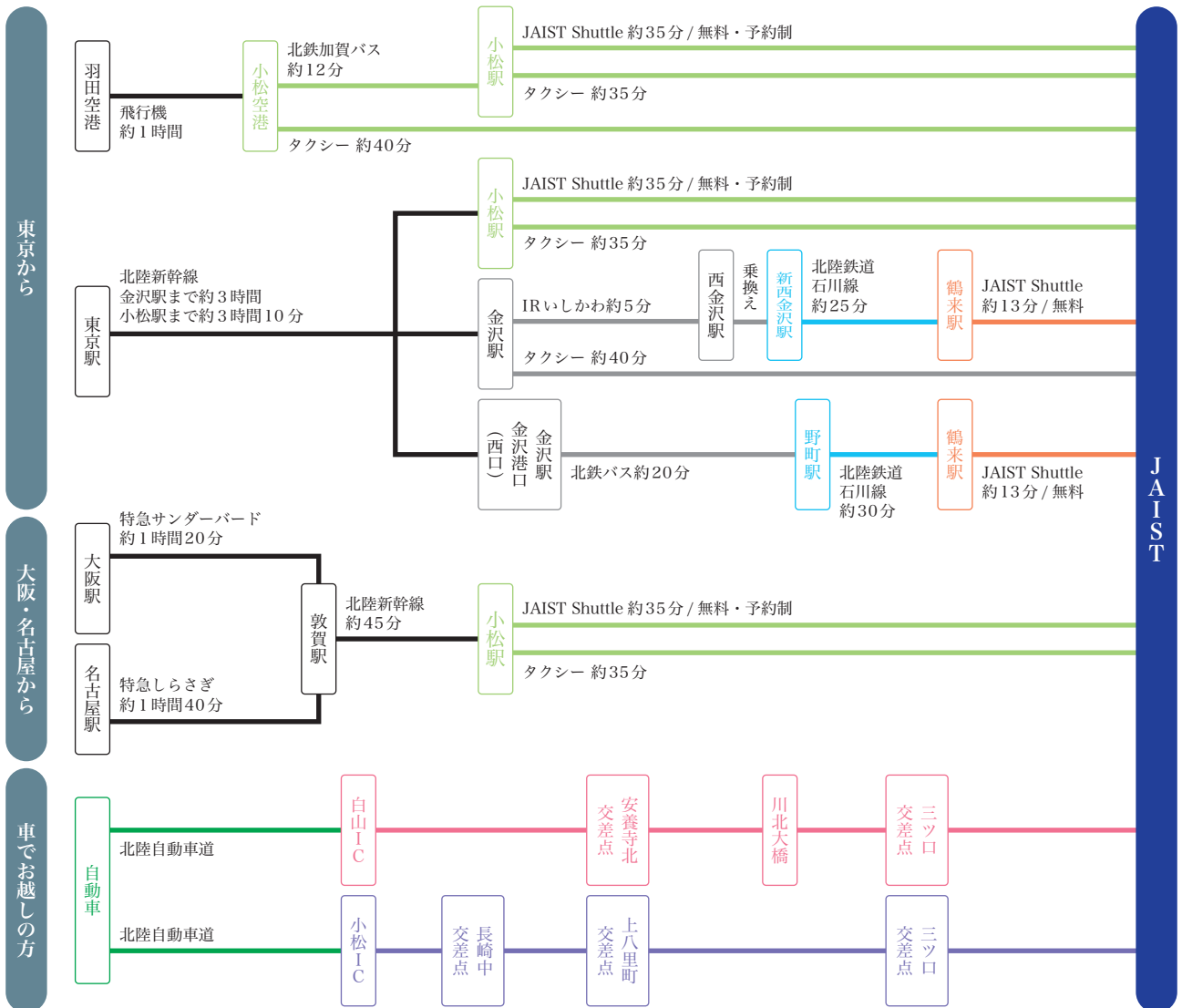
12 体育館
予約して使用することができます。
地域との交流の場として活用するほか、地域の指定避難所としての機能も有しています。



JAISTギャラリー
(5) エントランスホール
本学の研究成果と世界屈指のバズルを展示しています。バズルは、ご覧いただくだけでなく、実際に触って解いて楽しめるプレイルームも併設しています。



JAIST へのアクセス



- 小松駅から本学までの間には連絡バス「JAIST Shuttle」(小松線)(無料・予約制)が運行しています。
- 北陸鉄道鶴来駅から本学までの間には連絡バス「JAIST Shuttle」(鶴来線)(無料)が運行しています。

▶ JAIST Shuttle 鶴来線

JAISTと北陸鉄道石川線鶴来(つるぎ)駅を結ぶ無料連絡バスです。



▶ 北陸鉄道石川線(私鉄)

鶴来駅と野町駅を結ぶ私鉄です。金沢市内へのアクセスに便利です。野町から片町までは徒歩15分程度、電車の到着に合わせ、野町駅から金沢駅行きのバスも運行しています。

■ 北陸鉄道ホームページ
<http://www.hokutetsu.co.jp/>



▶ JAIST Shuttle小松線(予約制)

JAISTと小松駅を結ぶ無料連絡バスです。小松駅発着の一部の新幹線に接続するように運行しています。乗車人数に限りがあるので、入学前に利用したい場合は、本学に予約を依頼してください。



▶ のみバス(能美市コミュニティバス)

JAISTと能美根上駅を結ぶ「連携ルート」と、能美市内の各地区を廻る「循環ルート」「観光ルート」から構成され、料金は一律100円です。能美市内へのアクセスが可能で、能美市役所や、能美根上駅、また市内の買い物に行く際に便利です。

■ 能美市ホームページ
<https://www.city.nomi.ishikawa.jp/>



▶ 北鉄バス(私鉄)

県内各地を走る私鉄バスです。路線は「金沢周辺エリア」「白山エリア」「加賀エリア」「小松エリア」「能登エリア」「奥能登エリア」から構成されています。

■ 北陸鉄道ホームページ
<http://www.hokutetsu.co.jp/>

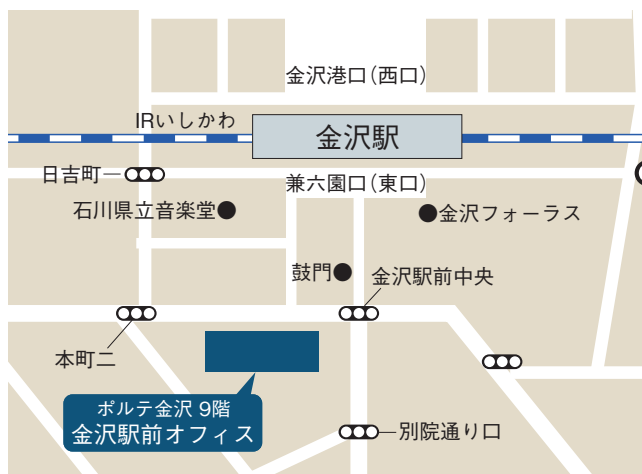


▶ カーシェアリング

カーシェアリングとは、1台の自動車を複数の人が共同で利用する、自動車の新しい利用形態です。JAISTには、構内にステーション(専用駐車スペース2台分)が設けられており、予約すれば24時間365日、手軽に日常的な買物や、レジャーに利用できます。料金は月毎の基本料金と予約した時間と走行距離に応じて課金されます。割安なバック料金もあり、支払いはクレジットカードで行います。



金沢駅前オフィス



東京サテライト



2026年4月発行

北陸先端科学技術大学院大学

〒923-1292 石川県能美市旭台1-1

| 学生獲得係 | TEL : 0761-51-1966 E-mail : nyugaku@ml.jaist.ac.jp

| 入 試 係 | TEL : 0761-51-1177 E-mail : nyushi@ml.jaist.ac.jp

<https://www.jaist.ac.jp>

JAIST

検 索



大学Webサイト



受験生サイト



入学案内ページ

